



国立大学発 特色ある取組紹介

社団法人 国立大学協会

発 刊 に あ た っ て

本冊子は、各国立大学の研究成果を基に開発された商品や大学の独自性を活かしたユニークな取組を取りまとめ、各大学の特色ある活動を紹介することによって、国立大学の多様な活動の一つとしてアピールすることとして発刊しました。

最近では新聞、雑誌に国立大学を含む大学発の商品が取り上げられ、既に知名度の高いものも存在しますが、多くの大学で多様な商品が開発・販売されております。

これまで国立大学は、研究成果等に関する広報活動が必ずしも十分でなかったこともあり、各々の国立大学がどのような研究を行い、それらの成果がどのように活かされているかについての説明や紹介が不十分であったと思います。大学の研究成果としての特許等を利用した製品や商品は多々ありますが、今回は、私たちの身近において比較的なじみのある商品や活動として普及しているものを中心に取りまとめ、紹介します。

本冊子で紹介する取組は、各大学が独自性を活かして実施しているものの一部ですが、これらの多くは地域社会との関連を含めて実施されています。今後も地域社会との密接な関係を構築し、地域や社会に根付いた国立大学の役割を果たしていけるよう、取り組んでまいります。

本冊子をご覧いただき、国立大学への一層のご理解とご支援をいただければ幸いです

平成20年 2 月

社団法人 国立大学協会

広報委員会委員長 梶 山 千 里

目次

第一章 大学の新商品

食 品 類

- 「永遠の幸」(プレスハム、ローズハム)／北海道大学 ●高貴ハマナス花ティー／北見工業大学 …… 2
- こうこう (リンゴ)／弘前大学 ●米の食味向上／山形大学 …… 3
- 医療への多目的応用が期待されるナノ・バブル水／東京医科歯科大学 ●ふっくらシリーズ／新潟大学 …… 4
- おわらの里から桑摘み茶／富山大学 ●関節リウマチ患者のためのサプリメント「RAease」／三重大学 …… 5
- 神戸大学ビーフ／神戸大学 ●醸造副産物と植物乳酸菌を活用したヘルスケア機能製品／広島大学 …… 6
- 血管病を予防する機能性食品「ラフィーネ エパゴールド」／山口大学 ●干菓子「阿波の恵み」／徳島大学 …… 7
- 愛媛大学の安心米／愛媛大学 ●高知大学野生酵母パン／高知大学 …… 8
- キラキラ光る新しい野菜「バラフ」／佐賀大学 ●低分子化ポリフェノール「オリゴノール」／長崎大学 …… 9
- ねじめびわ茶 (ティーバッグ、ペットボトル)、びわ丸120 (サプリメント)／鹿児島大学 ●大地の粒／琉球大学 …… 10

酒 類

- 御酒／東京大学 ●ホワイトナイル・ブルーナイル／京都大学 …… 11
- 香大農R-1' ワイン (ソヴァージュ・サヴルーズ)／香川大学 …… 12

機 械 類

- 超臨海炭酸ガスクリーニング／東北大学 ●ロボットスーツHAL／筑波大学 …… 13
- 日産自動車の乗用車／横浜国立大学 ●医療廃棄物を非焼却技術で分解処理する装置「バシオン・メディカ」／滋賀医科大学 …… 14

器 具 類

- マイナスイオン衣類収納ボックス「IONiZE」^{アイナニツ}／福島大学 ●平面アンテナ／東京工業大学 …… 15
- ハイブリッド木質チェア／静岡大学 ●ドライミスト／名古屋大学 …… 16
- 色弱模擬フィルタ「バリアントール」／豊橋技術科学大学 ●災害時の備蓄燃料としての丸太コンロ「木いぶ」／和歌山大学 …… 17
- 株式会社デジタルオーディオプレーヤー「gigabeat」と日立マクセル株式会社高音質化ヘッドホン「Vraison」^{ヴラゾン}／九州工業大学 ●ユーザフレンドリーな上肢用CPM装置／熊本大学 …… 18
- フィットネス・ストレッチャー／大分大学 …… 19

教材・材料・ソフト等

- ゼオライトマスク／帯広畜産大学 ●世界最高レベルの堅牢性と高速性をもつセキュリティ保護システム／岩手大学 …… 20
- 歩行環境シミュレータ／秋田大学 ●「油一／YUICHI」(油具絵)／東京藝術大学 …… 21
- (株)ベネッセコーポレーション「こどもちゃれんじ」／お茶の水女子大学 ●遠隔情報保障システム／筑波技術大学 …… 22
- おもしろ凸凹絵の具「ディンブルアート・カラー」／宇都宮大学 ●プライムデルタミスト (消臭除菌剤)／群馬大学 …… 23
- 赤外線照射融雪システム／長岡技術科学大学 ●元気生活ナビゲーター／山梨大学 …… 24
- 紫外線カットに効果がある化粧品／信州大学 ●糖尿病合併症診断試薬／金沢大学 …… 25
- モノランフィルム (携帯電話覗き見防止フィルム)／岐阜大学 ●メニコンZOMA (ハードコンタクトレンズ)／北陸先端科学技術大学院大学 …… 26
- 高感度イムノクロマト／大阪大学 ●抗ウィルスマスク「バリエール」／鳥取大学 …… 27
- 調湿用木炭「炭八」／島根大学 ●最先端の行動データ収集技術を初めて一般に導入した、NINTENDO DS専用英単語学習ソフト／岡山大学 …… 28
- ガンゼの肌着／九州大学 ●ゴーヤレクテン／宮崎大学 …… 29
- 前回り受身指導用柔道衣「初転君」^{はってんくん}／鹿屋体育大学 …… 30

第二章 企画・イベント・施設等

企画・イベント

- 北海道大学緑のピアガーデン／北海道大学 ●夕張支援コンサート／北海道教育大学 …… 32
- ジンギスカン鍋の製作／室蘭工業大学 ●リンゴとチューリップのフェスティバル／弘前大学 …… 33
- 「五感アート・ラボ」―三つの表現教育サテライト・ステージ／宮城教育大学 ●ロケットガール養成講座／秋田大学 …… 34
- モンゴル国子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクト／東京学芸大学 ●スーパーコンピューティングコンテスト／東京工業大学 …… 35
- 少年少女発明クラブ／電気通信大学 ●多摩信用金庫との連携による「産学連携ビジネスDAY in 一橋大学～課題解決討論会～」／一橋大学 …… 36
- 茨城大学学生国際会議（ISCIU）／茨城大学 ●お米と果物とミルクの不思議体験教室／宇都宮大学 …… 37
- 多文化共生のための学生ボランティア育成事業／群馬大学 ●大学開放デー―地域に根ざした大学を目指して―／埼玉大学 …… 38
- YNUSの取組／横浜国立大学 ●日本初！大学によるTVチャンネル「信州大学テレビ」／信州大学 …… 39
- ヘルン文庫定期公開―市民ボランティアの協力による定期公開―／富山大学 ●天晴れ門前塾／静岡大学 …… 40
- 中学生のための救急蘇生講座―BLSの実践を通じて学ぶ人の命の大切さ―／浜松医科大学 ●名古屋大学ホームカミングデイ／名古屋大学 …… 41
- 子どもまつり／愛知教育大学 ●気づく・考える・行動する…現場を活かす実践講座『工場長養成塾』／名古屋工業大学 …… 42
- 勢水丸の乗船体験／三重大学 ●滋賀大学サマーカレッジ「平成滋賀塾」／滋賀大学 …… 43
- ブラックバスを患者給食に／滋賀医科大学 ●子どもふれあい教室／京都教育大学 …… 44
- 天神祭船渡御に「阪大船」を出船／大阪大学 ●セミナー「子どもの心の問題を考える」／大阪教育大学 …… 45
- NANAつくすの挑戦―学校に行きづらい若者たちを支援―／兵庫教育大学 ●神戸大学東京フェア／神戸大学 …… 46
- NAIST東京フォーラム／奈良先端科学技術大学院大学 ●サイエンス・アカデミー／鳥取大学 …… 47
- 学舎のお宝展／島根大学 ●池田家文庫絵図展／岡山大学 …… 48
- 「きみがあふる路プロデューサー」～「専門教育大学 教育と学校を考える会」子ども歩き道徳体験活動～／専門教育大学 ●未来からの留学生―教育学部フェスティバル in 香大―／香川県立大学 …… 49
- 愛媛大学農学部昆虫展／愛媛大学 ●高知大学ラジオ公開講座読本／高知大学 …… 50
- 大学開放推進事業「Jr.サイエンス&ものづくり」in 教育大／福岡教育大学 ●地元放送局でテレビ・コマーシャルを放映／佐賀大学 …… 51
- JR大分大学前駅スロープギャラリー／大分大学 ●科学夢ロマン事業―自然科学指導者講座―／宮崎大学 …… 52
- エコアクション21／琉球大学 …… 53

施設等

- 小樽商大駅前プラザ ～ゆめぽーと～／小樽商科大学 ●病院玄関ホールの多目的利用／旭川医科大学 …… 54
- 岩手大学キャンパスまるごとミュージアム／岩手大学 ●福島大学サテライト「街なかランチ」／福島大学 …… 55
- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所資料展示室／東京外国語大学 ●アンテナショップ「農工夢市場」／東京農工大学 …… 56
- 藝大アートプラザ―芸術と社会との新しい出会いの場―／東京藝術大学 ●鯨ギャラリー／東京海洋大学 …… 57
- 筑波大学ギャラリー／筑波大学 ●環境健康オフィス「柏の葉鍼灸院」・クライミングウォール／千葉大学 …… 58
- LAWSON, NIGATA UNIVERSITY広報コーナー／新潟大学 ●NUTテクミュージアムへようこそ―そこに私たちの未来がある―／長岡技術科学大学 …… 59
- 上越教育大学大宮サテライト／上越教育大学 ●水晶展示室／山梨大学 …… 60
- パネル展 at 京大サロン／京都大学 ●美術工芸資料館／京都工芸繊維大学 …… 61
- 奈良教育大学教育資料館／奈良教育大学 ●奈良女子大学記念館／奈良女子大学 …… 62
- 紀南サテライト及び岸和田サテライト／和歌山大学 ●広島大学宇宙科学センター附属東広島天文台／広島大学 …… 63
- 交流の場、ギャラリー新蔵／徳島大学 ●Big Orange（新キャンパス情報発信拠点）／九州大学 …… 64
- 公開貴重資料展示室／長崎大学 ●旧制第五高等学校の資料を展示する五高記念館／熊本大学 …… 65
- インフォメーションセンター／鹿児島大学 ●NIFSスポーツクラブ／鹿児島体育大学 …… 66

第三章 大学のブランド商品 …… 68

各大学の窓口・連絡先一覧 …… 70

第一章

大学の新商品

食 品 類	2～10
-------	------

酒 類	11～12
-----	-------

機 械 類	13～14
-------	-------

器 具 類	15～19
-------	-------

教材・材料・ソフト等	20～30
------------	-------

とこしえ さち 永遠の幸（プレスハム、ロースハム） 北海道大学



農学部畜産科学科の学生実習で製造しているハムは製造量が少なく学内関係者のみに販売しているため「幻のハム」と呼ばれています。このハムの製造方法を農学研究院の服部昭仁教授指導のもと、大金ハム(株)が忠実に再現し製品化しました。このハムには50年におよぶ研究成果が蓄積されており、ハムの製造過程で重要な加熱・燻煙工程にじっくりと時間をかけ肉本来の風味豊かな最高の美味しさを引き出しています。また、添加物も必要最小限としていることから安心して食べることができると評判です。

高貴ハマナス花ティー

北見工業大学



北海道の花であるハマナスの花を配合した紅茶です。国際交流センターの山岸喬教授が、古文書中の薬用植物の研究か



らアイヌの人々がハマナスを利用していたことに注目し、ハマナスにビタミンCや抗酸化物質であるポリフェノールが豊富に含まれていることを明らかにしました。この成果をもとに、北見工大発ベンチャー企業である「はるにれバイオ研究所」と共同開発したのが、この「高貴ハマナス花ティー」です。北見市内の農家で契約栽培し生産されたハマナスの花を配合し、「キームン」をベースにした飲みやすい紅茶です。

こうこう（リンゴ）

弘前大学



農学生命科学部の塩崎雄之輔教授が藤崎農場において育成し、平成11年4月に品種登録しました。成熟すると黄色に仕上がリ、赤い色が付く品種のように秋になって葉摘みなどの色をよく付けるための作業が不要で、農家の人にはありがたい品種です。果実の形は円形ないし扁円形で、一果重は300g前後で「ふじ」と同程度です。リンゴを割ると果肉は黄色みを帯びており、完熟してからもぎ取ると蜜がたっぷり入っています。（糖含量は約14度）また、大変日持ちがよく、普通の低温貯蔵（0℃）で6ヶ月保存できます。

米の食味向上

山形大学



山形大学農学部安藤豊教授と山形県農業試験場庄内支場水田技術研究部藤井弘志部長（現山形大学農学部教授）を中心とする研究グループとの共同研究により、食味に深く関係する米のタンパク含有率の決定のメカニズムを解明し、タンパク含有率を低下させる栽培技術を開発しました。この結果、庄内産および山形内陸産「はえぬき」は日本穀物検定協会の食味試験で、連続10年以上特Aに評価され続けています。なお、10年以上連続しての特A評価は他に魚沼産「こしひかり」しかなく、「はえぬき」は高い評価を得ています。

医療への多目的応用が期待される ナノ・バブル水

東京医科歯科大学



突発性アフタ 舌尖部



0日
口内炎出現



ナノ水処理1日後
疼痛消失



ナノ水処理3日後
治癒所見

本学の長年にわたる潜水病研究から派生的に開発された酸素ナノ・バブル水は健康飲料水として既に市販されていますが、その隠された更なる医療効果が今、確認されつつあります。写真は、①舌にできた口内炎が、②少量（20cc）のナノ・バブル水でうがいをするとうちに反応し、③2～3日で治癒した一例です。

このような組織障害に対するナノ・バブル水の急速な滅菌、修復、再生、保存機能については、すでに大学知的財産本部から特許申請がなされており、各種疾患への応用が試みられています。さらなる臨床応用に向けて、連携大学とも協力しながら検証が進められているところです。

ふっくらシリーズ

新潟大学



近年、高齢化社会を迎え、咀嚼や嚥下に障害のある方が著しく増えています。このような障害があると、誤って食べ物を気管にいれてしまう「誤嚥（ごえん）」による肺炎や、食事を取り難くなって低栄養状態を起こしやすいなどの問題があります。このような人たちのために新潟大学大学院医歯学総合研究科（歯）山田好秋教授と亀田製菓は共同研究により「ふっくら白がゆ」、「ふっくら梅がゆ」、「ふっくら海苔がゆ」、「ふっくらおはぎ」を開発・商品化し、厚生労働省・農林水産省認可食品として一般に販売しています。

おわらの里から桑摘み茶

富山大学



おわらの町・富山市八尾町はかつて養蚕業で栄えその財力で豊かな文化を育んできました。桑は、昔から生薬として使われてきた歴史があります。中国の薬の書物「神農本草経」にも風邪、咳、高血圧、寝汗などに対する薬効の記載があり、近年ではその効能と成分に注目が集まっています。特に桑葉には「1-デオキシノジリマイシン」が含まれ、様々な科学研究が行われています。この桑葉に着目し、富山大学和漢医薬学総合研究所 済木育夫所長らの研究グループと廣貫堂メディフーズ(株)で共同研究・開発を重ねた、「おわら桑摘み茶」が誕生しました。

関節リウマチ患者のためのサプリメント「RAease」(ライーズ)

三重大学



関節リウマチによる痛みを緩和するには薬に頼るしかなく、副作用に悩む患者も多くいます。そこで、薬と併用することで投薬量を減らしたり、症状改善を助けるサプリメントを民間企業2社と開発しました。安全性を重視の上、大豆やキノコ、エビの甲羅などから抽出される物質にビタミンCなどを配合し、炎症反応を抑制、免疫機能を調整するサプリメントです。平成17年6月に製品化し、平成19年5月には製造ライン等を見直すなどしてコストダウンに成功、さらに販路が拡大しました。これまでリウマチに悩まされてきた延べ3000名に利用されています。

神戸大学ビーフ

神戸大学



神戸大学大学院農学研究科は但馬牛（兵庫県産の黒毛和牛）の一貫生産を附属の食資源教育研究センターで行い、「神戸大学ビーフ」として東京の日本橋三越本店で販売しています。神戸大学では脂肪の質を改善する遺伝子の発見や育種価による改良の促進など、和牛の育種改良に関わる研究を積極的に推進しており、その成果の実証展示の場としても同センターを位置付けています。生産される肥育牛は神戸肉枝肉共励会で優良賞等を受賞するなど、品質には自信を持っており、「神戸大学ビーフ」のブランド化を目指しています。

醸造副産物と植物乳酸菌を活用したヘルスケア機能製品

広島大学



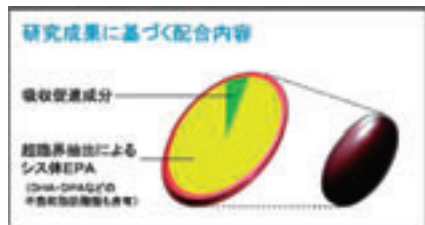
ロゴマーク



文部科学省・知的クラスター創成事業の杉山プロジェクト（代表：杉山政則教授／大学院医歯薬学総合研究科）において、醸造副産物と植物乳酸菌を活用した新技術が開発され、その成果は地元企業に技術移転されました。本技術を利用して、植物乳酸菌ヨーグルト、GABA入りの梅酒、フルーツゼリー、漬物等が創出されました。これら製品には、広島大学により商標登録された、産学連携製品を意味する『ビオユニブ広島』のロゴマークが貼付されています。植物乳酸菌による新規ヨーグルト製造技術は、韓国でも活用されようとしています。（文部科学省・知的クラスター創成事業ホームページ）
http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chiiki/cluster/h18_pamphlet_j/017.pdf

血管病を予防する機能性食品 「ラフィーネ エパゴールド」

山口大学



医学系研究科小林誠教授の研究チームは、心筋梗塞や脳梗塞等の血管病の主因となる血管異常収縮の原因分子と作用機構を発見し、さらに、その特効薬（シス体EPA）を見出し、特許出願しました。技術移転を受けたオリエンタルバイオ(株)は、平成17年に機能性食品（サプリメント）としての商品化に成功しました。さらに、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成を受け、2007年、高純度のシス体EPAとそれを効率よく体内に吸収できる新配合の「エパゴールドVer.2」を、小林教授らと共同開発・新発売しました。

干菓子「阿波の恵み」

徳島大学



徳島大学薬学部では、徳島県の木、ヤマモモ果汁の機能解明を進め、抗酸化作用や抗アレルギー作用を持つ成分を確認しました。引き続きヤマモモ果汁を利用しやすい粉末として試作しました。この製品を広く県内食品企業に紹介し、興味を示された異業種研究会（TKSラボ）のメンバーらと商品開発を検討しました。その結果、和菓子製造会社「鳳月坊」でヤマモモ粉末を和三盆糖に練り込んだ干菓子を商品化し、平成17年から販売しています。現在、地域特産品のお菓子「阿波の恵み」として販売されており好評を得ています。

愛媛大学の安心米

愛媛大学



『愛媛大学の安心米』は、愛媛大学農学部上野秀人准教授らが、低投入持続型農業の技術開発研究の一環として栽培している有機無農薬米です。これは、化学肥料や農薬、家畜糞も投入せず、純粋な土壌の恵みだけを受けて栽培しています。その秘密は、クローバーを裏作で栽培することによる窒素固定と土壌養分循環の向上、「稲にとって健康的な」養分供給、高い生物多様性による病虫害抑制などにあります。最適品種の松山三井は、大粒でさっぱりとした味わいがあり、寿司米や酒米としても使われています。食味試験でも県内産コシヒカリより高い評価が出ています。

高知大学野生酵母パン

高知大学



野生酵母でつくったパン

高知の自然から分離した新しい野生酵母を生かした、美味しくて香りに特徴があるパンです。高知大学、高知県、ベーカリーペロリ、小田象製粉、デンマークブロートの産官学連携によって、野生酵母の培養法と発酵力に応じた製パン法を確立して、保存性や保水性が優れた美味しい食パンができました。さらに店頭で野生酵母の純粋培養を行ったり、レシピの開発をしています。これは、平成17年度科学技術振興機構の研究開発促進支援事業の成果です。

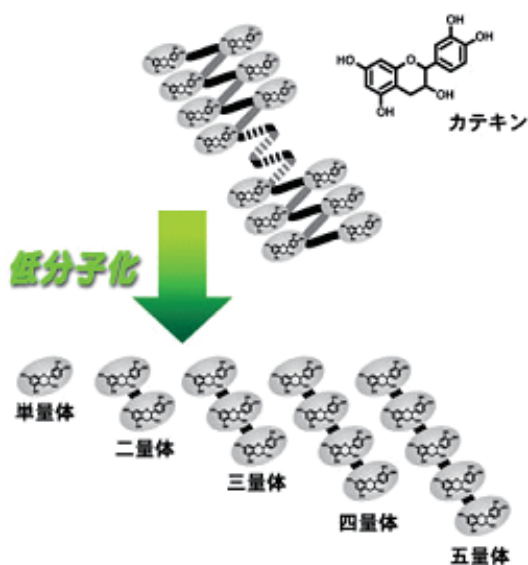
キラキラ光る新しい野菜 “バラフ” 佐賀大学



農学部熱帯作物改良学研究室では、アイスプラント（佐賀大学ブランド名 バラフ）の持つ塩化ナトリウム（NaCl）の吸収・蓄積に注目して、地球温暖化にともなう環境問題のひとつである塩類集積土壌の修復改善技術の開発を目標に研究を続けてきました。その過程で、新しい野菜として市場販売を可能にした“バラフ”は、りんご酸、クエン酸、ミネラル分も豊富に含まれ、キラキラ輝き宝石のような見た目や、サクサクの食感、爽快な塩気がテレビ番組で取り上げられ、それ以降、全国的に高級食材としてレストラン等で使用されるなど注目を集めています。

低分子化ポリフェノール「オリゴノール」

長崎大学



オリゴノールは生体への吸収が低いとされるポリフェノールのポリマーを生体吸収性および活性の高いオリゴマーへ変換した世界初の“低分子化ポリフェノール”です。

長崎大学、ウサイエン製薬と(株)アミノアップ化学により共同開発に成功しました。現在、ライチから抽出したポリフェノールを低分子化したオリゴノールを、アミノアップ化学から供給販売しており、様々な食品に使用されています。

ねじめびわ茶（ティーバッグ、ペットボトル） びわ丸120（サプリメント）

鹿児島大学



農学部 坂田祐介教授他4名は、農業生産法人(有)十津川農場との共同研究により農学と薬学の双方の分野から、鹿児島県産のびわの葉を使用して作った「ねじめびわ茶」にダイエットや健康増進効果があることを動物実験により明らかにしました。同社は、鹿児島大学との共同研究成果であることを明示して、「ねじめびわ茶」「びわ丸120」の商品名でティーバッグ、サプリメント(錠剤)、ペットボトルを販売しています。

大地の粒

琉球大学



大豆プロテイン発酵食品「大地の粒」

大豆タンパク質は、種々の機能特性、生理機能及び加工適正に優れているので健康食品開発用素材として重要です。農学部の安田正昭教授らは、沖縄の発酵食品である豆腐ように関する食品科学的研究を実施しています。本事例は、その発展として取り組んだ組立・発酵法による“豆腐よう”に関する研究成果を(株)トロピカルテクノセンター及び琉球セメント株式会社との共同研究によりミネラル、イソフラボン及び機能性ペプチドなどがリッチな大豆タンパク質発酵食品の開発と商品化に成功したもので、女性向けの健康食品として注目されています。

御 酒

東京大学



御酒（うさき）は琉球王朝末期から代々受け継がれる「幻の泡盛」です。昭和10年、坂口謹一郎本学名誉教授は沖縄から多数の黒麹菌を東京に持ち帰りましたが、その中に御酒のもとになる瑞泉菌もありました。昭和20年の沖縄戦で戦前の菌はすべて消滅しましたが、平成10年に本学分子細胞生物学研究所に奇跡的に瑞泉菌が保存されていることが判明。本学で培養・分離された瑞泉菌により沖縄・瑞泉酒造が醸造を開始し、平成11年、幻の酒が復活。銘は「御酒（うさき）」とされ、東京大学コミュニケーションセンターで販売されています。

ホワイトナイル・ブルーナイル

京都大学



ブルーナイル



ホワイトナイル

平成18年4月、京大、早大と黄桜は古代種小麦を材料の一部としたビール「ホワイトナイル」の共同開発を発表しました。早大吉村作治教授（現サイバー大学長）の古代エジプトビール再現プロジェクトに京大がエンマー小麦の種子を提供したことに端を発するもので、市販にあたっては、近縁のデュラム小麦を用いて現代製法で醸造。黄桜は年間に7万3千本販売しました。

平成19年8月には材料をエンマー小麦へ切り換え、さらに、デュラム小麦使用のフレーバー系発泡酒「ブルーナイル」を発表しました。

‘香大農R-1’ ワイン (ソヴァジョーヌ・サヴルーズ)

香川大学



ソヴァジョーヌ・サヴルーズ

ブドウ‘香大農R-1’は高温栽培条件下でも果皮着色性の優れる醸造用品種で、香川大学農学部・望岡亮介教授が沖縄に自生する野生種リュウキュウガネブを育種親にして作出しました。地元のさぬきワイン(株)と平成14年から商品開発を行っており、平成18年に一般販売されました。機能性成分に富みながら渋みが少なく飲みやすいのが特徴です。商品名「ソヴァジョーヌ・サヴルーズ」は「芳しき野生の乙女」という意味のフランス語で、大学が商標登録を持っています。

超臨界炭酸ガスクリーニング

東北大学



衣料品 洗浄例



ファー付モンクレール



ルイヴィトン
ゴム引きコート



ステラマッカートニー
ゴム引きコート

工学研究科超臨界溶媒工学研究センターと仙台市のオートランドリータカノ等との共同研究により、CO₂を洗浄溶媒として洗剤なしで洗濯できる独自のドライクリーニング装置を開発しました。この方法は、VOCフリー、回転なし、乾燥不要で、繊維の収縮問題もなく、従来法では選択不可とされてきた衣料品にも適用できるもので、人間・地球・繊維に優しいクリーニングとして注目されています。

ロボットスーツHAL

筑波大学

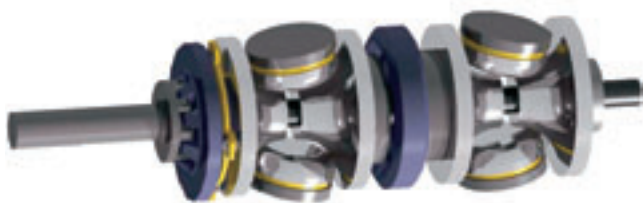


大学院システム情報工学研究科の山海嘉之教授が開発した世界初のサイボーグ型ロボットHAL (Hybrid Assistive Limb) は、体に装着することによって、身体機能を拡張したり、増幅したりすることができます。HALの応用分野は幅広く、医療福祉分野ではリハビリテーション支援や身体訓練支援、身体機能に障害がある方への自立動作支援、介護支援、工場などでの重作業支援、災害現場でのレスキュー活動支援、エンタテインメントなど、幅広い分野での適用が期待されています。

日産自動車の乗用車

横浜国立大学

Prof. Hirohisa Tanaka
Yokohama National University



乗用車用ハーフトロイダル形無段変速機ユニットのCG図

工学研究院の田中裕久教授は、2～3GPaのヘルツ圧力で液体状から固体状に油の物性を変えて転がり式の回転体に力を伝達できる、トロイダル形トラクションドライブ式無段変速機について、日産自動車(株)、日本精工(株)、出光興産と共同開発により、平成11年に世界初となる乗用車（セドリック、スカイライン、グロリア等）の市販化に尽力しました。高効率、低騒音、長寿命、高応答、軽量であることから、自動車用のみならず、平成19年に航空機用無段変速機としても実用されています。

医療廃棄物を非焼却技術で分解処理する装置「パシオン・メディカ」

滋賀医科大学



医療廃棄物処理装置（試作機）

滋賀医科大学では、外科学講座：谷 徹 教授と草津電機(株)との共同研究により、感染の危険性があり、処理コストが増大している医療廃棄物（血液が付いたガーゼや注射器など）を、加熱酸化チタンを利用して水や炭酸ガスに分解し無害化する装置を開発しました。

本装置は、従来の焼却・埋立処理に比べ、ダイオキシン類やCO₂排出量を抑え、環境への負荷を大幅に軽減するとともに、すべての医療廃棄物を施設内において完全処理する“ゼロエミッション”につながるものです。

なお、本装置は草津電機(株)により製品化され、医療機関等向けに販売しています。

マイナスイオン衣類収納ボックス 「IONiZE（アイアナンツ）」

福島大学



福島市内の段ボール製造企業のトルマリン塗料コーティング収納ボックス開発に関する技術相談をきっかけに共同研究を行いました。まず、共生システム理工学類准教授の塘忠顕が収納ボックスにコーティングしたトルマリン塗料の害虫に対する成長抑制及び忌避効果を見出しました。さらに、商品化の段階において、経済経営学類 准教授の上野山達哉・三崎秀央（現兵庫県立大学）・川上昌直・奥本秀樹らによる経営グループの企画に基づく店頭アンケートの解析によりデザインを工夫し、文理融合の商品が開発されました。

平面アンテナ

東京工業大学



一般のアンテナは、高周波では損失が大きく効率が低下しますが、大学院理工学研究科電気電子工学専攻の安藤真教授、廣川二郎准教授らのグループで開発した1層構造 導波管を特徴とする、スロット方式の薄型平面アンテナは、非常にシンプルで量産可能な構造ながら、高周波でも超高効率を実現しています。衛星放送受信用平面アンテナとして、家庭用や移動体搭載用として量産の実績を有し、現在では(株)ファーストから、またNTTの無線IPアクセス用として、日本無線(株)から商品化されています。

ハイブリッド木質チェア

静岡大学



農学部環境森林科学科の鈴木滋彦（すすきしげひこ）教授と野木村敦史（ノギムラカンパニー）の共同研究成果を活かしたもので、重厚感のあるウォールナット材と軽い桐や杉材を複合させることによって、高強度かつ軽量で木質の風合いを持った高級感のある椅子の作成に成功し、展示販売を行っています。

異樹種材料を積層接着させる新しいタイプの接合構造を開発することで、軽量化による接合部の強度の低下を克服しました。これにより、インテリア素材の設計が可能となり、家具類、事務機、健康器具へと用途は広まりました。

ドライミスト

名古屋大学



ドライミスト（六本木ヒルズ構内）

「ドライミスト」とは、人工的な霧が液体から気体になる際、周囲から熱を奪う気化熱を利用して周囲の気温を下げる冷却装置で、名古屋大学大学院環境学研究科の3研究室と、清水建設、能美防災等が共同開発したもので、平成17年の愛・地球博で初めて実用化されました。ノズルから噴霧された1000分の16ミリという微細な水滴が、瞬時に気化する際に、周囲の空気から熱を奪い、気温を2～3℃下げます。東京の「六本木ヒルズ」や「秋葉原クロスフィールド」、中部地方でも豊田市ははじめ5カ所に設置されています。

色弱模擬フィルタ 「バリエントール」

豊橋技術科学大学



産学共同開発プロジェクトによる世界初の色弱模擬フィルタです。中内茂樹教授の研究室で設計したフィルタ分光特性を、伊藤光学工業(株)が光学フィルタとして実現し、高知工科大学篠森研究室が評価を行いました。

色弱者の色の見分けにくさを一般色覚者が体験できるようにしたメガネ型特殊フィルタで、かけて、その場で、すぐ気付く。カラーユニバーサルデザイン・支援ツールです。

<http://www.variantor.com/>

災害時の備蓄燃料としての丸太コンロ 「木いぶ」

和歌山大学



丸太コンロ “木いぶ”

和歌山大学と未利用木質資源研究会が地域貢献特別支援事業で間伐材や従来処分されていた木の端材の活用策を探るなかで開発した丸太コンロ“木いぶ”。火付けが簡単で1時間30分程度燃焼し、災害時の備蓄燃料やアウトドアでの暖房や調理器具として活用できます。丸太コンロ普及事業は平成19年度「紀の国森づくり基金活用事業」に採択され、より活発な普及活動を行っています。今後は災害時の備蓄燃料として県内の避難所への配備を推進していく計画です。

販売：NPO法人和歌山県木質資源開発機構

(株)東芝デジタルオーディオプレーヤー「gigabeat」と日立マクセル(株)高音質化ヘッドホン「Vraison(ヴレソン)」

九州工業大学



(株)東芝携帯音楽プレーヤー「Gigabeat」



日立マクセル(株)ヘッドホンシステム「Vraison (ヴレソン)」

九州工業大学ヒューマンライフIT開発センターの佐藤寧教授の音声技術をもとに、(株)東芝と、「H2Cテクノロジー (High order Harmonics Compensation Technology)」を、日立マクセル(株)と、「Bit-Revolutionテクノロジー」を共同開発しました。2件とも、圧縮により失われた高音域を補完する高音質化技術です。

これらの技術を採用した(株)東芝のデジタルオーディオプレーヤー「gigabeat」と日立マクセル(株)の高音質化ヘッドホンfor PC「Vraison (ヴレソン)」は、ともに人気商品です。

ユーザフレンドリーな 上肢用CPM装置

熊本大学



上肢用CPM装置AH706

人間が巧みに活用している「フレキシブルな力制御」の研究シーズを持つ大学院自然科学研究科の川路茂保教授は医学部整形外科や櫻井精技(株)等との共同研究により、患者やコメディカルに対しユーザフレンドリーな肘・肩関節疾患の治療・リハビリ機器である「上肢用CPM装置」の技術開発を行い、7年に及ぶフィールド試験を経て商品化しました。本装置は五十肩の治療にも適用できるので、一般家庭への展開も可能です。新薬事法に基づく認証を厚生労働省より、また新連携計画において経済産業省と厚生労働省との共管での認定第一号を受けて販売しています。

フィットネス・ストレッチャー

大分大学



大分大学総合科学研究支援センターの今戸啓二准教授と後藤体器㈱の共同研究で開発した健康器具「フィットネス・ストレッチャー」は、他動的に足関節の底背屈運動を繰り返し行うことで、ふくらはぎを動的にストレッチします。動的ストレッチに伴い静脈流が促進され、筋肉の柔軟性が回復します。筋肉の硬さも評価できます。

平成19年4月19日には、このフィットネス・ストレッチャーを能登半島地震避難所に寄贈し、被災者の健康維持に役立てていただきました。

ゼオライトマスク

帯広畜産大学



大動物特殊疾病研究センターの今井邦俊教授と日清紡との共同研究において、日清紡の新開発素材“GAIACOT®（ガイアコット）※”に抗菌・消臭機能のみならず、鳥インフルエンザウイルスを短時間で99%以上不活化する高い機能性があることが確認されました。

海外で高病原性鳥インフルエンザの人への感染事例が報告され、感染予防への関心が国内で高まってきた時期であったためメディア等で紹介されたことから、同素材を用いたマスク製品化問い合わせが多方面から寄せられ、商品名：ゼオライトマスクとして商品化されたものです。

※：ガイアコット：ゼオライト（アルミ・ナトリウム・珪素からなる無機系鉱物）をコットン繊維内で直接結晶合成させる特殊手法による日清紡の開発素材。さらに、ゼオライトのイオン交換能を活用し、銅をイオン状態で導入しているため、ウイルス類・細菌類に高い効果を発揮する。

世界最高レベルの堅牢性と高速性をもつセキュリティ保護システム

岩手大学



製品化商品（写真右が堅牢な暗号化USBメモリ）

情報メディアセンターの吉田等明准教授の研究成果を(株)アドテックシステムサイエンスとの共同研究により製品化（製品名：「J-crypt」）に成功しました。カオスニューラルネットワークから発生させた疑似乱数を用いることで世界最高レベルの堅固性と高速処理を実現し、処理速度は米国標準暗号に比べ3倍以上の能力を有します。セキュリティ問題に頭を悩ませる企業や団体にとっての強力なツールです。

歩行環境シミュレータ

秋田大学



工学資源学部の吉村昇教授、水戸部一孝講師の研究成果をエーピーアイ㈱（秋田県大仙市）との共同研究により開発。周囲を覆うスクリーンに仮想的な車道を投影し、モーションキャプチャにより身体動作を計測することで、危険認知・回避に関する能力の検査および模擬体験を可能にします。足元にあるトレッドミルと連動して車道を含む市街の映像が移動するため、バーチャルな車道横断を体験できます。多発している高齢者の車道横断時の交通事故防止を目指した体験型訓練用のシミュレータとして販売。すでに大分県警が導入しています。

「油一／YUICHI」（油絵具）

東京藝術大学



「油一／YUICHI」は、東京藝術大学美術学部油画技法材料研究室（佐藤一郎教授、大西博准教授他）が、ホルベイン工業㈱との共同研究により「理想的な油絵具」を目指し開発した油絵具です。画家の感性を最も重視し、油絵具の視覚性と触覚性の観点から研究した結果、耐久性に優れ、発色が鮮やかで、粘着性も強く、透明性も高い、理想的な油絵具が完成しました。チューブ、キャップの意匠の美しさ、産学協同の試みも評価され、平成19年度グッドデザイン賞を受賞した、日本のアイデンティティに富む世界に発信できる油絵具です。

(株)ベネッセコーポレーション 「こどもちゃれんじ」

お茶の水女子大学



(株)ベネッセコーポレーションと内田伸子教授（大学院人間文化創成科学研究科）との共同開発により、子どもの心の発達に関わる発達心理学の知見を応用する技術として、絵本やおもちゃ、ビデオなどのマルチメディアを開発し、「こどもちゃれんじ」教材を作成しました。子どもの心に優しく母子のコミュニケーションを活性化する教材として支持されるとともに、「こどもちゃれんじ」のキャラクターである「しまじろう」は、今や日本全国で親しまれています。

遠隔情報保障システム

筑波技術大学



筑波技術大学では、他大学で学ぶ聴覚障害学生への支援を目的とした遠隔情報保障システムの開発を進めています。このシステムは、内藤一郎教授を代表としたコミュニケーション支援研究グループが開発しているもので、他大学の講義室とインターネットで結び、本学のスタジオから手話通訳や字幕提示による支援を行うものです。現在のシステムでは、情報保障画面にその講義で講師が提示している教材スライドや講義の中に出てくる専門用語などのキーワードも合成して、聴覚障害学生が講義を理解しやすい環境を構築しています。写真は本学からの支援を受けている他大学の講義の様子です。

おもしろ凸凹絵の具 「ディンプルアート・カラー」

宇都宮大学



おもしろ凸凹絵の具「ディンプルアート・カラー」(下) と作品例 (上)

工学部の木村隆夫教授が自動車フロントガラス用のポリビニルブチラール中間膜廃材を再生利用して開発、商品化した特殊絵の具です。ガラスやプラスチックなどのツルツルした表面に筆を使わずにつけ塗りすると、あら不思議!! 乾くと表面にさざ波のようなディンプル模様が現れ、ぬり絵感覚でステンドグラス調の絵画、シールづくりが楽しめるアイデア商品です。全22色を用意しておりますが、特に、クリアと名づけた色のない絵の具を混ぜると、透明感が自由に表現できます。従来の絵の具に比べて光沢性、耐熱性及び耐候性に優れており、幅広い用途が見込めます。

プライムデルタミスト (消臭除菌剤) 群馬大学



本学佐藤久美子名誉教授の研究成果を本学発ベンチャー企業のプライム・デルタ(株)で実用化した消臭除菌剤です。

一部のエッセンシャルオイル（アロマ精油）には豊かな香りと除菌作用のある事が知られています。このアロマ除菌のありかたを研究し、その成果として「プライムデルタミスト」を発売しました。

良質のアロマ精油を使い除菌効果と同時にリラクゼーション効果があります。除菌作用の強力なティートリー、爽やかな香りのペパーミント、抗カビ効果をもつローズマリー等をベースに個性豊かな香りをブレンドし、その効果を検証して製品化しました。

赤外線照射融雪システム

長岡技術科学大学



赤外線照射融雪システム：商品名『暖灯』は長岡技術科学大学と㈱トーテックとの共同研究によって生み出されました。この融雪システムは特定波長を雪面に投影したとき、雪面が針状に刻まれる現象（宮内信之助特任教授の研究）を基本として開発された商品です。雪面に刻まれた針状刻紋は10cm以上に達し、これによって雪面が自然熱を容易に利用できるようになり、融雪効率率は50%を超えます。現在、長岡技術科学大学と㈱トーテックとの共同出願の形で特許申請中です。

元気生活ナビゲーター

山梨大学



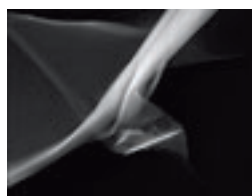
医学工学総合研究部の山縣然太郎（やまがた・ぜんたろう）教授（社会医学）が、生活習慣病予防を目的として開発した生活習慣改善のためのツールで、山梨大学発ベンチャー企業㈱プリメドジャパンから販売しています。

健康診断の検査結果と健康度の自己評価を組み合わせることにより、各自が真っ先に取り組む必要のある改善すべき生活習慣項目を抽出・提示することができます。

既に山梨県内の病院や自治体で使われており、長野県岡谷市など県外でも導入が進みつつあります。

紫外線カットに効果がある化粧品

信州大学



— 2 μ m

上の写真は㈱ノエビアと共同開発した紫外線（UV）吸収材料「透明酸化チタン」の電子顕微鏡像。この写真は、薄片の全体の一部であり全体は数十マイクロメートルという非常に大きなサイズを有しています。

右の写真は製品化された㈱ノエビアの化粧品



化粧品の紫外線吸収材料は、紫外線のみを吸収して、可視光を透過する必要がありますので、紫外線を吸収する酸化チタンの微粒子を含むのが一般的でした。信州大学繊維学部村上泰教授・高須芳雄教授の研究成果のゾルゲル技術をもとに酸化チタンのナノ薄片を合成することで新しい紫外線吸収材料を設計しました。この材料は、毛穴に入り込まない、水に流れない、光散乱をしないという優れた特徴をもち、㈱ノエビアの化粧品として実用化されました。

糖尿病合併症診断試薬

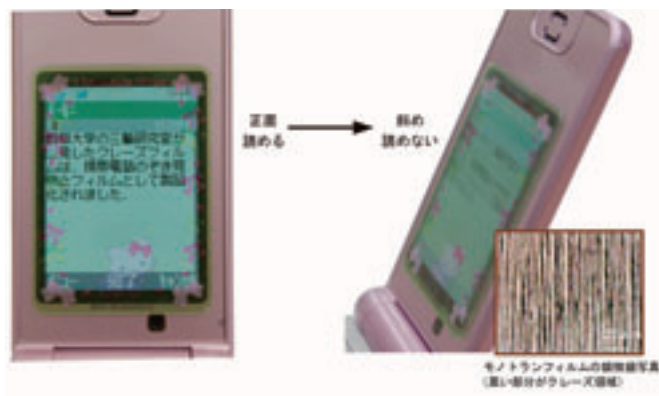
金沢大学



金沢大学大学院医学系研究科の山本博教授の研究グループは、第一ファインケミカルと産学連携で共同開発した、糖尿病合併症の診断試薬キットを米国の医薬品会社「B-ブリッジ社」（カリフォルニア州・サンノゼ）を通じ、欧米を中心に全世界で販売しています。糖尿病合併症の発症リスクの予知は、合併症の予防及び治療手段の開発を可能とし、糖尿病克服という国民的課題に大きく貢献することが期待できます。

モノランフィルム (携帯電話覗き見防止フィルム)

岐阜大学



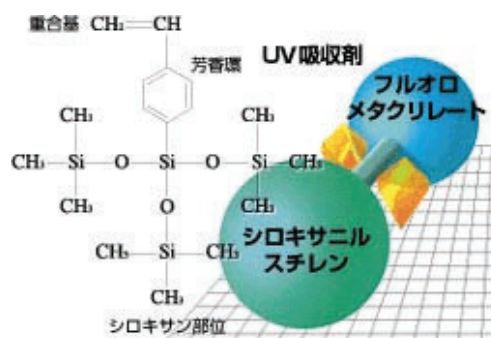
工学部の三輪 實教授らは、高分子フィルムに数ミクロン幅のクレーズ（微細なひび割れ）を規則的に生成させる簡便な方法を考案。フィルムのクレーズ部分がブラインドの羽根のように作用し、正面からは見えますが、斜めから見ると見えなくなります。このクレーズフィルムは、機能性光学用素材として市販されており、内外の有名キャラクターとコラボレートし、「携帯電話覗き見防止フィルム」として製品化されました。

さらに、メーカーによる開発が進み、まもなく液晶向けなど汎用光学素材フィルムとしても市場に出て行きます。

メニコンZOMA (ハードコンタクトレンズ)

北陸先端科学技術大学院大学

ハードコンタクトレンズ

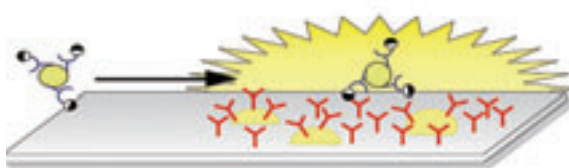


ハードコンタクトレンズの分子構造

ケイ素と酸素からなる物質の性質は結合する酸素の数に依存し、その制御により、種々の有用な材料を設計することができます。マテリアルサイエンス研究科の川上雄資教授は、ケイ素に3個の酸素が結合した構造を持つポリマーが適当な硬さと膜になる性質、高い気体透過性を有することを見出し、フルオロアルキルメタクリレートと組み合わせた材料を用い、メニコン(株)と共同でハードコンタクトレンズを開発しました。このレンズは、酸素透過性を高レベルに維持しながら、素材強度の低下を抑制できる優れた性質を持っています。

高感度イムノクロマト

大阪大学



金属ナノ粒子の設計、配置制御により高感度な測定を実現するイメージ図

民谷栄一教授は、金属ナノ粒子のプラズモン効果を応用して、イムノクロマトの感度を従来法の10倍～100倍高めることに成功しました(国際特許出願中)。(有)バイオデバイステクノロジー(大学発ベンチャー)と田中貴金属工業(株)は、このイムノクロマト高感度化法を用いてインフルエンザウィルスや腫瘍マーカーなどを高感度に、且つ迅速に検出することの出来るイムノクロマトテストストリップを開発し、広く世界市場に展開を開始しています。

抗ウィルスマスク「バリエール」

鳥取大学



農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターの大槻公一特任教授、伊藤壽啓教授らと(株)モチガセとの共同研究により、抗ウィルスマスクの商品化に成功。

マスクに使用される抗ウィルス素材BR-p3は、天然鉱物「ドロマイト(白雲石)」から生み出された微粒子で、研究では3ヶ月以上にわたってウィルスの殺滅効果が持続することがわかっています。

調湿用木炭「炭八」

島根大学



産学連携センターの北村寿宏教授他4名は、出雲土建(株)との共同研究により、廃木材から調湿や様々な物質の吸着剤に活用できる木炭の製造技術を開発し、実用化に成功しました。この木炭は、床下調湿材としての利用のほか、室内住環境に利用することで、カビやダニの発生抑制効果があることが実証されています。また、医学部の森田栄伸教授他3名のグループにより、アトピー性皮膚炎や小児喘息の症状緩和にも効果があることが見出され、販売実績を伸ばしています。

最先端の行動データ収集技術を初めて一般に導入した、NINTENDO DS専用英単語学習ソフト（THE マイクロステップ技術で覚える英単語） 岡山大学



発売中のゲームソフト



ソフトの中で描き出される成績の変化

従来の学習ソフトは、楽しく覚える工夫はなされていますが、肝心の到達度の測定精度はまだまです。「2千語の英単語を実力レベルでマスターするのに、自分の場合何日必要か？」といった疑問に科学的に答えられる方法はこれまでに一切ありません。教育学部の寺澤孝文准教授は、最先端の測定技術（マイクロステップ技術）を、初めて一般の英単語学習ソフトに導入し、従来とは比較にならない高い精度で、個人の到達度を描き出すことを可能にしました。その技術は、学術領域でも、最近活用が本格化し始めている、最先端の科学技術です。

グンゼの肌着

九州大学



芸術工学研究院綿貫茂喜教授とグンゼ㈱との共同研究で、肌着のやわらかさが人体や脳に影響を及ぼし、ストレスを高め、免疫力を弱めることが判明し、この研究成果を生かして、ストレスを低減させ、免疫力の低下を防止する着心地のよい肌着として、グンゼ㈱より「快適工房シリーズ」、男性用肌着「YG-X」、女性用のストッキングなどの商品が販売されています。

ゴーヤレクチン

宮崎大学



今や夏野菜の定番となったゴーヤですが、その苦味成分であるモモルデシンには血糖降下作用があり、糖尿病に有効な食材として注目されています。宮崎県はゴーヤ生産量が全国トップクラスであり、その加工品の出荷も盛んであることから、廃棄物としての種子の大量入手も容易です。

明石良教授らの研究により、このゴーヤ種子から抽出したレクチンはヒトO型赤血球（H抗原）を強く認識することが判明し、血液型判定試薬として製品開発を行い、全国の科学捜査研究所に向けて販売しています。既存の競合製品よりも力価が高く、かつ安価であることから高い評価が得られています。

前回り受身指導用柔道衣 「初転君（はってんくん）」

鹿屋体育大学



前回り受身は怪我予防の観点から柔道にとって欠かせない基本技術であると同時に、安全教育の一環として、幼児教育や初等中等教育などの学校現場で重要と考えられています。しかし、柔道初心者にとってはことのほか難しく、指導者もその指導には時間と労力を割かれています。そこで、『正しいフォームで安全に回転できるように』、前回り受身の技術を短期間に修得する手助けツールとして、鹿屋体育大学の濱田初幸准教授のもつノウハウを製品化し、『初転君（はってんくん）』が誕生しました。

第二章

企画・イベント・施設等

企画・イベント

32～53

施 設 等

54～66

北海道大学緑のビアガーデン

北海道大学

北海道大学をより身近に感じていただくことを目的に緑豊かなキャンパスのタベをビアガーデン（後援：さっぽろ夏まつり実行委員会）として地域の皆さんに開放しました。



会場となった百年記念会館では、地域のみなさんが「北大農場でとれたトマトとカマンベールチーズの冷製ピザ」、「北海道大学伝承『幻の味』永遠の辛ブレスハム 北大農場ブルーベリー添え」など本学オリジナルのおつまみに舌鼓をうちながら緑のなかで静かに生ビールを楽しんでいました。



夕張支援コンサート

北海道教育大学

平成19年6月17日（日）、北海道教育大学岩見沢校の深井尚子准教授と夕張出身の学生らが、夕張高等養護学校で夕張支援コンサートを無料で開催しました。

これは、夕張市出身の学生の提案に、夕張市出身の深井准教授や、有志の学生が協力したものです。

当日は、市民ら約100名が集まり、学生らはピアノ、フルートなどで、バッハなど17曲を演奏しました。

来場した市民は、テノールの芳醇な声量やピアノに聞き入り、拍手を送っていました。



演奏者の記念撮影



力いっぱい演奏する学生

ジンギスカン鍋の製作

室蘭工業大学



真剣に作製する参加者

ものづくりに関わる実践的な教育、先端加工技術の研究、ものづくりを通じた地域との交流を行うことを目的として設置された「ものづくり基盤センター」では、小中高校生や市民など、多くの方が施設見学やものづくり体験会に参加しています。

特に、市民にもものづくりマインドを高揚させる事を目的として、センターの設備を利用して、オリジナルジンギスカン鍋を実際に製作する講座を開催

し、ものづくりの奥深さ、面白さを実感してもらい、地域貢献にも一役買っています。



完成したジンギスカン鍋

リンゴとチューリップのフェスティバル

弘前大学

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場では、広く市民に農場を開放して、地元で親しまれる大学を目指し、「リンゴとチューリップのフェスティバル」を開催しています。フェスティバルでは、伊藤大雄准教授の指導のもと、学生が実習で植え付けを行ったチューリップ21品種10,000球と、20品種約1,200本のリンゴの花を楽しむこともできます。また、フェスティバル当日は藤崎農場産のリンゴ等を販売しています。



「五感アート・ラボ」 ―三つの表現教育サテライト・ステージ―

宮城教育大学

「五感アート・ラボ」は大学が文化施設や芸術家、市民と協同してジャンル横断的な表現教育の手法を開発し発信する活動です。教科横断型「ラボ」の教員チーム（代表＝美術教育講座・新田秀樹教授）は平成16年度から4年間に亘って美術館や空き倉庫などに「ギャラリー」「シアター」「ス

タジオ」の三種の大学サテライトを仮設、子どもの美的創造の根源を探る展覧会や能楽・パントマイム・即興ダンス・音響彫刻などを総合する実験

的公演を継続し、表現教育に長い伝統を持つ本学の特色を生かした地域貢献活動として注目されています。



音響彫刻<音のかげら>（金沢健一作）を使った「コラボ・キッズラボ」の様子

宮城教育大学サテライトシアター「能・パントマイム・即興ダンスの出会い」ポスター



ロケットガール養成講座

秋田大学

平成18年度に開講し好評だった「ロケットガール養成講座」を平成19年度も引き続き開講。ロケットの製作から打ち上げまでを自分たちで行うことで、ものづくりの楽しさ、理工系のすばらしさを体験してもらうことを目的とした講座です。秋田・山

形・東京・神奈川・鹿児島
の現役女子高生ら20名が参加しまし

た。自作のロケットを約1カ月かけて完成し、全国から約200人の学生が参加した「能代宇宙イベント」で実際に打ち上げました。



モンゴル国子ども達の発達を支援する 指導法改善プロジェクト

東京学芸大学

本学が推進する「国際教育協力推進プロジェクト」の一つで、平成18年4月に開始された4ヵ年計画の事業です。モンゴル国で平成17年9月に導入された「新教育スタンダード」に沿い、同国が初等及び中等教育の算数・数学、理科、IT教育、総合学習の教科・領域を中心に「学習者主体の学習」を実施する「指導書」を作成し評価し普及させることを支援しています。

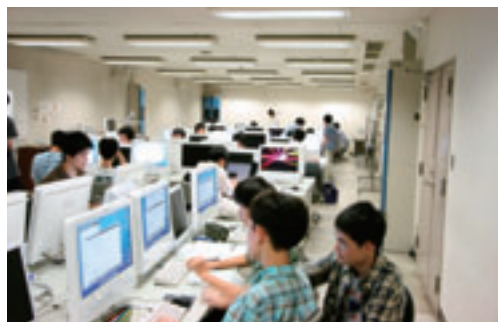
この指導法改善プロジェクトは、本学の関係講座・教室等から専門家を選出し、附属学校と企業を含む国内関係諸機関に、授業や教員研修等の実際をモンゴル国側関係者とともに見聞し協議など行うことを依頼するなど、組織的で理論的かつ実践的な取り組みです。



スーパーコンピューティング コンテスト

東京工業大学

スーパーコンピューティングコンテスト（通称：SuperCon）は、平成7年より始まり、平成19年で第13回目を迎えました。東京工業大学にクレイ社のスーパーコンピュータが導入されたのを契機に、パソコンやプログラミングが好きな高校生に、スーパーコンピュータにふれ、楽しんでもらう趣旨で開始されました。平成18年からは大阪大学と共催しています。現在では、SuperCon（スーパーコン）という名称も、プログラミング好きな人たちの間では、かなり広まっており、夏の電腦甲子園とも言われています。



少年少女発明クラブ

電気通信大学

「目指せ！ 平成のエジソン」をスローガンに、小学3年～6年生を対象にクラブ員を募り、年間を通じて、ステアリングカーや光オルゴールの継続課題製作のほか、1回完結型の工作教室を実施し



ています。子ども達の自主性を尊重し、技術的な指導・助言等を行



うるとともに、科学的な見方や考え方が育つように配慮しています。また、1年間のクラブ活動修了後、引き続き活動を希望する者については「特別研究生」として、クラブの活動とは別に、リーダーを中心に自主的な活動を展開しています。

多摩信用金庫との連携による「産学連携ビジネスDAY in一橋大学～課題解決討論会～」

一橋大学

平成18年から多摩信用金庫と共催するこのイベントは、多摩地区の企業経営者が抱える経営課題の解決に産学連携で取り組む試みです。トップレベルの地域貢献活動を長く行ってきた多摩信用金庫と共に地元多摩地域の企業を対象に行うことで、本学の地域貢献としても意義あるものです。平成19年度は、「事業継承」「ブランディング」「中国（海外進出）」の課題について、本学教員をはじめ専門教授や専門家が地元企業の経営者と討論しました（平成19年度共催・社団法人首都圏産業活性化協会、後援・経済産業省関東経済産業局）。



茨城大学学生国際会議（ISCIU）

茨城大学

平成19年10月、茨城大学では学生主催の国際会議（ISCIU3）を開催しました。本会議は大学院生・学部学生の国際コミュニケーション能力や企画力を養うことを目的に発足した企画です。第3回目となる今回は「地域・地球環境

問題を中心としたサステナビリティ（持続可能性）」がテーマで、世界各国の学生から55編の論文

が集まり、活発な議論がありました。IPCCで活躍されている2名の特別講演もあり、国際交流さらには研究領域の進展につながる貴重な会議となりました。今後も学生国際会議は毎年開催される予定です。



お米と果物とミルクの不思議体験教室

宇都宮大学

栃木県真岡市に在る附属農場において、県内在住の小学生とその保護者を対象に、農場の圃場・作物・家畜・施設等を積極的に活用しながら、農業生産や最先端バイオテクノロジー技術を体験的に学ぶことを目的として毎年開催しています。6月に田植え、7月に稲や果樹の生育観察、9月に果樹収穫や農業機械体験、10月に稲刈り、そして11月には牛の給餌や搾乳等の牛舎実習や体外受精実験等を行い、季節の移り変わりを肌で感じながら子供達が多彩な体験を、又、農業を通して親子で自分達の食や命について身近に考える機会を提供しています。



6月に行われた田植えの様子



9月に行われた果樹収穫の様子

多文化共生のための 学生ボランティア育成事業

群馬大学

平成2年の入管法改正の施行以降、全国で外国人集住地域が生まれ、多文化共生が地域課題となっています。本学では、平成13年度に全学規模で地域連携型「多文化共生教育・研究プロジェクト」を立ち上げ、教育・医療・防災・防犯の側面から取組を展開してきました。近年では、一橋大学「まちづくり授業」と連携し、多文化地域でのフィールドワークを通じた、学生ボランティア活動の企画・運営等を支援しています。

プロジェクトHp：

<http://tabunka.jimu.gunma-u.ac.jp/>



平成19年度開講の講座には、群馬大学37人と一橋大学30人が参加し、多文化地域でのフィールドワークをもとに、学生ボランティア活動の企画・運営のあり方を検討しました。

大学開放デー —地域に根ざした大学を目指して—

埼玉大学

地域との連携を通して社会に開かれた大学であることをアピールするため、平成17年度より、毎年5月下旬の土曜日に地域の小・中・高校生をはじめ広く一般に大学を公開しています。講演会や公開討論、体験型の研究内容の紹介、学生課外活動団体による実演に加え、連携協定を締結している浦和レッズと大宮アルディージャの協力を得て、写真展や選手との交流会など、お子さんから大人まで楽しめるイベントを行っています。



新スポーツ「キンボール」を家族で体験



世界ジュニアチャンピオンに挑戦

YNUSの取組

横浜国立大学

横浜国大では、教員やOBを中心に、「地域にスポーツ文化を拡げる」をモットーに、平成17年にNPO法人YNUスポーツアカデミー（YNUS）を立ち上げました。以来、地域の人びとを対象に各種スポーツ普及・振興事業を実施することで、青少年の健全な成長と市民の健康増進に寄与し、スポーツを通じてコミュニケーションの場を提供することを目的に活動しています。スポーツ教室や健康講座開催に当たっては、同大の施設を利用し、教職員・卒業生・学生が知識や経験を基にボランティアとして活躍し、地域に密着した活動を行っています。



柔道教室や野球教室等、キャンパス内に元気なかけ声が響いています

日本初！大学によるTVチャンネル「信州大学テレビ」

信州大学

信州大学では、平成18年10月に市民の皆様への生涯教育や企業団体の皆様への研究情報の提供など、地域社会への貢献と、学生の人間力向上を目的とした、日本初の大学専用テレビチャンネル「信州大学テレビ」を開設しました。主な番組は3つの学生チームが制作しています。研究室紹介、イベントや地域レポートのほかドラマもあり、バラエティに富んでいて、いずれも大学生ならではの視点で作られているのが特徴です。平成19年4月からは、正規の授業として「放送番組制作ゼミ」も開講しました。



ヘルン文庫定期公開—市民ボランティアの協力による定期公開—

富山大学

附属図書館（五福キャンパス）に所蔵されているヘルン文庫は、「怪談」の著者ラフカディオ・ハーン（1850～1904：日本に帰化して小泉八雲と称した。）の旧蔵書で、洋書2,069冊、和漢書364冊及び「日本：一つの解明」（「神國日本」）の手書き原稿1,200枚からなります。

文庫の紹介並びにハーン関連情報は図書館ホームページで公開されていますが、ハーンが集めた図書を直に見たいと言う声に応えて、市民ボランティアの協力による文庫の定期公開が4月から始まり、11月までに約230名の来館者があり、地域社会からの関心の高さがうかがえます。



天晴れ門前塾

静岡大学

天晴れ門前塾（あっぱれもんぜんじゅく）は、第一線で活躍する社会人の方々を講師として招き、学びの場を大学の外に広げようと平成16年に人文学部の授業の企画のひとつとして始まりました。その後学生が中心となって企画し、地元の社会人の協力（市民と静大・共同講座を進める会）を得て実施されています。

門前塾では、講師を「組長」、学生（他大学の学生や専門学校生を含む）を「学徒」、ひとつの講座を「組」と呼び、「門前の小僧、習わぬ経を読む」の言葉にならい、組長から様々な「世の中」を学びます。



中学生のための救急蘇生講座—BLSの実践を通じて学ぶ人の命の大切さ—

浜松医科大学

浜松医科大学救急医学講座（実施責任者：青木克憲教授）と浜松救急医学研究会が主体となって、平成7年度から実施している本活動は、市内の勤務医・開業医・救急隊員のボランティアによる援助によって、年間約30回実施し、平成18年度までの12年間に、10,235人の中学生が受講しています。

この活動は、心肺停止症例に対する第1発見者のBLS（Basic Life Support、一次救命処置）実施率が国際水準並みに改善されることを目指しており、BLSの実践を通じて生命危機への対処技術を体得させるものがあります。

なお、本活動は、本学の知名度を向上する一助ともなっています。



名古屋大学ホームカミングデイ

名古屋大学

名古屋大学ホームカミングデイは、卒業生・修了生、元教職員、学生のご家族、地域の皆様を大学にお招きし、教育・研究の活動状況や優れた成果を直接見ていただくとともに、大学構成員との交流の場を提供することを目的に、名古屋大学全学同窓会との共催で平成17年度に初めて開催しました。来場者は、年々増えており、平成18年度は約3,500人でした。



第1回名古屋大学ホームカミングデイ

子どもまつり

愛知教育大学

愛知教育大学では、昭和45年以降、毎年5月と12月の年2回、本学キャンパス内で、学生が企画し運営する「子どもまつり」を開催しています。当日は、地元の小学生を中心に、約1,500人の子どもたちが参加します。多くの子どもたちと触れ合い、一緒に遊ぶことのできる、教育大学ならではの企画です。会場内は、趣向を凝らしたゲームやイベントなどが企画され、学生と子どもたちが一緒に楽しめる一大イベントです。

将来教員を目指す学生たちにとっても、子どもと共に楽しむたいへん良い機会となっております。



気づく・考える・行動する…現場を活かす 実践講座『工場長養成塾』

名古屋工業大学

名古屋工業大学では、地域の中堅・中小企業の工場長クラスを対象にした「工場長養成塾」をトヨタグループと共同で立ち上げました。「工場長養成塾」は現場での問題発見能力（「気づき」）を高めることで、自ら考え行動する人材の育成を図る実践講座です。「ゼミ」「実習」「実践」「先進工場視察」「エグゼクティブ・プログラム」の5つの柱で構成され、そのうち「実践」は塾生の工場を教室として行われます。計23日（146時間）のコースで、費用は受講者負担とし、財政的に自立した運営を行っています。



ゼミ：現場で活きる数々の知識を得る

実習：模擬ラインを使い改善の効果を自らの手で習得

実践：実際の現場で問題と解決法を導く

勢水丸の乗船体験

三重大学

平成19年5月3日に津ヨットハーバーで開催された「津ハーバー祭2007」において、三重大学は練習船「勢水丸」を一般の方に体験乗船していただきました。参加者はヨット部の学生らにより、プレジャーボート、ヨットなどで沖合に碇泊する「勢水丸」に乗船。参加者は、小学校低学年の児童からご年配の方まで幅広い年齢層にわたり、それぞれ海洋観測機器の説明やロープの結び方の指導を受けたり、海水・底泥採集観測の様子を見学したりと、船上ではあちらこちらで歓声がわき起こっていました。



滋賀大学サマーカレッジ 「平成滋賀塾」

滋賀大学

平成19年8月30日から9月7日までの9日間、(株)近畿日本ツーリスト及び(株)びわこビジターズビューローとともに、滋賀大学サマーカレッジ「平成滋賀塾」を開講しました。

第1日目、経済学部講堂で入学式を挙行、成瀬学長から歓迎の挨拶があり、全国から集まった18名が入塾しました。

第2日目は、嘉田滋賀県知事による講義「"もったいない"で日本の未来を語る」、高田滋賀銀行頭取による講義「新しい価値観の共有を求めて」が行われ、受講生に加え多数の大学教職員や金融関係者が参加しました。

他にも、滋賀を知るための様々な講義や学外研修が行われました。



ブラックバスを患者給食に

滋賀医科大学

滋賀医科大学医学部附属病院では、琵琶湖の生態系に影響を及ぼす外来魚を食べて減らそうと、ブラックバスを使った料理を患者給食に採用することを計画しています。

栄養治療部の岩川裕美副部長（栄養士）と北尾邦明調理師長らが、ブラックバス（別名：びわバス）はタウリン含有量が豊富で脂肪が少なく、ヘルシーな魚であることから、入院患者の栄養治療に適していることに着目し、メニューの開発に乗り出しました。すでに「チリソース」、「ねぎ味噌焼き」、「ムニエル」の3種類のメニューを考案し、教職員に試食してもらったところ、評判は上々です。今後、メニューを増やし、患者さまへのアンケート調査と試食を経て新たな給食メニューとして献立に加わる予定です。



栄養分比較表（参考資料：五訂日本食品標準成分表・南郷水産センター実測値）

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂 質 (g)	タウリン (mg)
ブラックバス	92	19.1	1.2	412
鯛	194	21.7	10.8	138



ブラックバスのチリソース



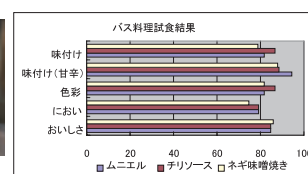
ブラックバスのねぎ味噌焼き



ブラックバスのムニエル



大学主催ガーデンパーティにて試食会



子どもふれあい教室

京都教育大学

11回目となる本プログラムは、子ども達がものづくりなどの体験の中で、年齢や学校の異なる「友達」や大学生と“ふれあい”ながら、責任感や自主性、協調性をはぐくむ、参加者（100名）を抽選で決定するほどの夏休み期間の人気プログラムです。

授業科目「実地教育A」の受講生として参加する学生（多くは1回生）は、教員や前年度参加学生の指導助言をもとに、試行錯誤を繰り返しながら本番に臨み、子どもの笑顔を得たときの達成感や充実感とともに、子ども達の予想外の反応にとまどうなど、教育の難しさを実感する場になっています。



天神祭船渡御に「阪大船」を出船

大阪大学

日本三大祭「天神祭」。水都大阪の夏を彩るこの大きな祭には、毎年全国から観光客を始め大勢の人達が集まります。大阪大学では、毎年「阪大船」を仕立て出船しています。

江戸時代、大坂町人文化が生んだ懷徳堂・適塾を源流とする大阪大学が、大阪市内から豊中市、吹田市へキャンパスを移転してから、大阪市民にとって「阪大」は少し遠い存在になりました。しかしながら、市民講座などを軸とし、市民、社会との連携を重視する「中之島センター」を大阪市中之島の旧医学部跡地に開設し、また、平成19年10月に大阪外国語大学と統合し、新生大阪大学としての第一歩を踏み出した本学は、再び市民の身近な存在になろうとしています。

今年の夏には、変革元年の意味も込め、「大きく生まれ変わります 大阪大学」をキャッチフレーズに、水都大阪市に戻ってきた大阪大学を大きくアピールしました。



セミナー 「子どもの心の問題を考える」

大阪教育大学

子どもの発達とそれを取り巻く問題の理解や解決の難しさ、子どもの成長を支える支援の在り方などについて、現在子育て中の保護者をはじめ、教育問題に関心のある方々と一緒に考え、教育に関する知見を深める機会とすることをねらいに、9月の水曜日の午後、合計4回のセミナーを開催しました。各回40名定員のところ、多くの問い合わせがあり、合計300名を超える参加者を得て、大阪教育大学が学校教員の養成のみならず、家庭教育への支援にも貢献できることをアピールできました。



NANAつくすの挑戦—学校に行きづらい 若者たちを支援—

兵庫教育大学

「心の教育」の中でも最も重要な課題の一つに挙げられる、不登校の児童生徒への支援を行うために、平成17年度から学生参加による不登校支援ネットワーク「NANAつくす」を立ち上げ積極的に活動をしています。NANAつくすのコーディネーターが学生を不登校支援施設などにボランティアスタッフとして派遣しています。学生は不登校の子どもたちとのふれあいを通して学んだことや支援施設の活動内容などをレポートにまとめ、学内外にも広く発信しています。



支援施設のスタッフを招き、活動報告や意見交換をする“しゃべり場”



学校に行きにくい児童生徒を集めた演劇のワークショップ

神戸大学東京フェア

神戸大学



平成19年1月12日、「神戸大学東京フェア—未来づくりは神戸から—」を開催しました。人文・人間科学、社会科学、自然科学、医学・生命科学の分野を持つ総合大学神戸大学の現状を知っていただくとともに、神戸大学が関わる産学官民連携のシーズ情報を全国に発信するのが狙いです。今回のフェアは、「安全・安心」、「環境」、「健康」、「食」に関わる新規産業の創造につな

がる神戸大学からの未来づくりを官庁・企業・研究機関などへ提案することをねらいとして、講演会、パネル展示・試作品展示、交流会の3部構成にて開催し、会場のホテルには約400人の出席者を迎えました。



NAIST東京フォーラム 奈良先端科学技術大学院大学

このフォーラムは、首都圏の産・官及び教育関係者の有識者に対し、先端科学技術分野においてインパクトの大きいイノベーションを担う研究人材を育成するための大学院研究教育について、本学の先端的な取組みを理解していただくため、平成9年度から毎年開催しているものです。

平成19年も日本経済新聞社と共催し、「日経産業新聞フォーラム2007 先端科学技術を駆使した環境配慮社会」と題し、6月25日（月）日経ホール（東京都千代田区）で開催し、参加者約450名の中、高市早苗元内閣府特命担当大臣による基調講演や、パネルディスカッションを行いました。



サイエンス・アカデミー

鳥取大学

鳥取大学の研究を地域住民の方々に発信し、地域に親しまれる大学を目指して、毎月第2・第4土曜日の午前中1時間30分程の講演を実施しています。平成7年から始まったこの取組は、平成19年9月に226回を迎えました。

現在では、鳥取県立図書館と共催により鳥取県中・西部の図書館にライブ中継され、鳥取県東部で開催される科学的・文化的講演会が鳥取県下全域で同時視聴されています。



学舎のお宝展

島根大学

島根大学では、平成18年4月に「ミュージアム」を設置し、大学まるごとミュージアム構想により、学内の標本資料類などの公開のほか、研究・教育内容などの紹介、ホームページ、データベースの構築・更新による情報の発信やキャンパスツアーなどを行っています。ミュージアムでは、このたび特別展示として「学舎（まなびや）のお宝展」を開催し、明治時代以来、本学が、永年の教育研究活動の過程で収集してきた標本資料類を一堂に会して公開しました。学生・市民など多数の来場者があり、とても好評でした。



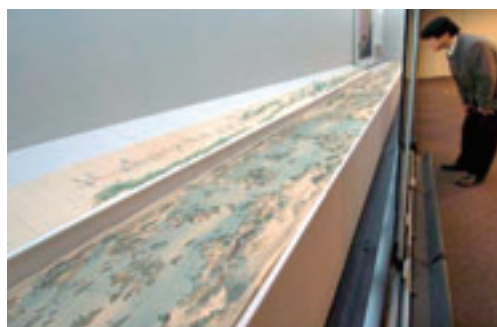
池田家文庫絵図展

岡山大学

岡山大学附属図書館には、江戸時代に備前一国（現在の岡山県南東部）を領国としていた岡山藩池田家の約240年にわたる古文書や絵図類などの記録資料（約6万点）を所蔵しています。毎年、一般に公開するイベントとして、平成9年より絵図展を開催

しており、平成19年度は、岡山市デジタルミュージアム

（岡山駅西口前）を会場に、「陸の道」と題して、江戸時代の交通や宿駅、岡山の街道、岡山藩の参勤交代に関する絵図や古文書を展示しました。同図書館では、この活動をおして、地域の文化力向上に貢献しています。



絵図展写真（山陽新聞社提供）



ポスター

「きみがお遍路プロデューサー！」

～「鳴門教育大学 教育と学校を考える会」子ども歩き遍路 体験活動～ 鳴門教育大学

「鳴門教育大学 教育と学校を考える会」は平成16年に発足し、以降、小学校教員・大学教員・大学院生など多様なメンバーで活動しています。研究会と子どもを対象とした体験活動を実施、両者を通じて、現在の学校とは異なる学びのあり方を模索してきました。本年度の「子ども歩き遍路 きみがお遍路プロデューサー」では、子どもたちが自ら行程を考えて、お遍路を歩く体験活動を計画しました。子どもたちに体験を通じた学びが創出

されることを期待すると同時に、関わっている教員や学生の力量形成の場としても機能することを期待しています。



未来からの留学生

—教育学部フェスティバル in 香大— 香川大学

毎年10月に開催している「未来からの留学生 in 香大」は、教育学部の教職員と学部生・大学院生が力を合わせて取り組む地域貢献の行事です。県下の幼児・児童が「未来からの留学生」として様々な講座に参加し、大学という「学び」の場において学習や研究活動の一端を体験します。

モノを作ったり、身体を動かしたり、講義や実験を体験したり等、講座の内容は多彩です。今年は「和歌でバトル☆百人一首であそぼう!」、「おもしろ科学実験」、「エンジョイ!! スポーツ教室☆」、「ロボットと力くらべ!」、「おもちゃ王国in香大」等、38講座を開講しました。



中国の遊びにチャレンジ! (教育領域留学生による講座)

愛媛大学農学部昆虫展

愛媛大学

愛媛大学農学部環境昆虫学研究室（大林延夫教授、酒井雅博准教授）には、世界中から採集した120万頭を超える、我が国有数の昆虫標本コレクションがあり、「分類学」を教育・研究できる全国でも数少ない貴重な研究室です。このことを地域の方々に知ってもらうため、例年、8月上旬の4日間、コレクションの一部を展示し、無料で公開しています。実際に昆虫に触れられるコーナーや昆虫のプロフェッショナル（虫プロ）に相談が出来るコーナーもあり、子供達の多様な質問や旺盛な好奇心に応えています。



昆虫展の様子



虫プロコーナーの様子

高知大学ラジオ公開講座読本

高知大学

高知大学は、「高知大学ラジオ公開講座」を平成17年7月より地元ラジオ局で毎週日曜日に放送しています。

この講座では、教員の研究成果や専門知識の中から、地域や時事の話題を取り上げ、「環境」、「防災科学」、「歴史」など月毎にテーマを決め、幅広い層の方々にわかりやすく講義しています。また、放送が聴けない地域の方々のため、放送音声をポッドキャスト対応のWEB公開もしています。このたび「高知大学ラジオ公開講座読本」を発刊し、地域の図書館などに配布するなど、より多くの方々に親しんでいただけるよう取り組んでいます。



高知大学ラジオ公開講座読本「LIBERATION」

大学開放推進事業 “Jr.サイエンス&ものづくり” in 教育大

福岡教育大学

大学の教育機能や施設を広く地域社会に開放し、地域の子どもたちが多様な活動を体験できる機会を提供することを目的として、無料で大学を開放し、学校休業日となる土曜日に地域の子どもたちを受け入れ、近年課題となっている「理科離れ」や「ものづくり離れ」などの課題に対応するため、「科学」と「ものづくり」をテーマに実験や実習及び工作をし、科学のおもしろさ、ものづくりのおもしろさを体験してもらうことを目的として毎年10月に開催しています。

近隣の小・中学校の児童・生徒や保護者の方々が数多く参加し、非常に好評を得ています。



地元放送局で テレビ・コマーシャルを放映

佐賀大学

佐賀大学では、大学のイメージアップと受験生獲得のための広報戦略の一環として、地元放送局でコマーシャルを放映しています。このコマーシャルは、本学の「芸術と表現」という授業の中で、学生がテーマを決め、絵コンテを作成して制作したもので、撮影も学生自身が独創的な視点でカメラを回して行いました。

テーマは、「のどかなくせに、国際派」で、本学が地方の大学でありながら、留学生の割合が全学生の約4%を占め、また外国の大学との学術交流協定も112校と、国際色豊かであるという特色をアピールしています。



JR大分大学前駅スロープギャラリー 大分大学

JR大分大学前駅では、駅構内のスロープをギャラリーとして開放し、絵画や写真を毎月展示しています。年間12回の展示企画のうち10回は大分大学の学生の作品を展示しています。主に、教育福祉科学部の美術を専攻している学生の作品ですが、平成19年4月には、同駅開業5周年及びJR九州発足20周年を記念して、学生による鉄道写真展を開催しました。工学部の鉄道マニアの学生が、駅長から依頼され、約2ヶ月かかって撮影したJR九州の車両の写真を20点展示しました。同駅は学生とのふれあいを大切にしており、学生と協力して駅の美化活動を行うなどの努力が実り、JR九州のサービスランキング調査では2年連続年間第1位という高い評価を得ています。



科学夢ロマン事業 —自然科学指導者講座—

宮崎大学

宮崎大学では、小中学校における理科教育の重要性に鑑み、宮崎県教育委員会との連携協力の下、平成18年度より「科学夢ロマン事業—自然科学指導者講座」を実施しており、平成19年は8月22,23日に行いました。これは、小中高校の先生方（20名）と大学教員（10講座）とが一緒になって科学実験を行い、また講義を受講することで、小中高の教員自身のスキルアップを図ると同時に、教材研究開発の手法などの習得を目的としています。小中高校生に自然科学に親しんでもらう「どっぶり合宿」事業と共に、教育連携事業の要としています。



エコアクション21

琉球大学

琉球大学では、環境活動の取組を自主的、積極的に推進しているところです。その取組の一環として『大学本部・附属図書館』において、「エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン2004年版」（環境省）



千本桜植樹会の様子

の要求事項に適合している事が認められ、平成19年5月15日に国立大学法人として初めて認証を取得しました。なお、3年計画で大学全体の認証取得を目指しています。



エコアクション21認証・登録証

また、その中で平成18年11月18日に琉球大学千本桜植樹祭を実施し、隣接する三市町村の首長及び住民、小中学校の生徒並びに琉球大学の学生と教職員合わせて300名を超える人たちが参加しました。

小樽商大駅前プラザ ～ゆめぽーと～

小樽商科大学



小樽商科大学は、平成9年4月小樽駅前のホテル内に市民と大学との交流の場として「駅前プラザ(愛称：ゆめぽーと)」を設置しました。大学の広報誌や入試情報等の情報発信の場として、また気軽にコーヒーを飲みながら懇談したり、インターネットを使用して大学の図書を検索・貸出できる場として市民に大いに活用されています。

大学の企画として、学長・副学長との茶話会や市民講座、貴重図書の展示、留学生との交流会を開催して市民との交流を深めています。

病院玄関ホールの多目的利用

旭川医科大学

旭川医科大学病院の玄関ホールは、総合案内を配置し、病院の顔としての機能を持たせています。このホールを地域におけるコミュニケーションの場として位置付け、多様な目的に利用しています。平成19年3月にはスターバックス社のコーヒーショップを導入し、患者や職員、そして周辺住民など多くの方に利用されています。また、地域住民に向けてのイベント会場としても開放しており、フラメンコショー、バリトンや歌謡曲、近隣の中学校生徒によるブラスバンドのコンサート、タレントによるトークショーなどを開催しています。



岩手大学キャンパス まるごとミュージアム

岩手大学

岩手大学は、キャンパス全体を「キャンパスまるごとミュージアム」として、大学の歴史や特徴的な研究成果などを展示紹介しているミュージアム本館や卒業生である宮澤賢治の在学中の資料などを展示公開している農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）をはじめ、動物の病気標本室、自然観察園、グリーンアドベンチャー、多くの彫刻などを設置し、誰もが自由に大学のキャンパスを散策できるようにしています。天気の良い日には、幼稚園児や小学生などの元気に遊ぶ声が聞こえるほか、自然豊かなキャンパスを多くの市民が訪れます。



ミュージアム本館

福島大学サテライト「街なかブランチ」 福島大学

大学の教育研究の進展に資するとともに、大学と地域社会の連携、協力及び交流を推進するための事業等を実施することを目的に、地域の方が利用しやすいよう市街地に設置された施設です。産官民学連携事業・地域企業等とのコーディネート事業・公開講座等の生涯学習事業・教育相談事業・その他講演会、セミナー、会議等の各種事業を実施しています。



東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化 研究所資料展示室

東京外国語大学

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所では、研究成果の学外への発信の一環として、アジアの文字の歴史や文字文化の多様性やその魅力を紹介する展示を行っています。展示は、同研究所棟内1階に設置された資料展示室において行われており、展示の規模により、文献資料室も利用することがあります。展示内容は、貴重書や文字資料といった学術展示の他にも、文字をモチーフにしたユニークな装飾品や文字を題材にした美術作品によって構成した展示が来場者の方々の好評を博しています。



アンテナショップ「農工夢市場」

東京農工大学



学内で生産された農林産物や加工品を販売するアンテナショップ「農工夢市場」を平成18年1月にオープン。学生や教職員、また、近隣住民向けに販売を行っている他に、食農教育のための情報発信や収集の基地としての役割も担っており、将来は学生や大学院生が農林産物の生産から収穫、さらに販売までを行える実践教育の場としても活用していく予定です。

販売日時は毎週木曜日の12～14時で、販売品は野菜、果物等の農産物や、まな板や表札等の林産品、さらにジャムや味噌、アイスクリーム等の加工品があり、場所は農学部キャンパス正門横の旧守衛室を活用しています。販売日には毎回行列ができ、好評を得ています。



藝大アートプラザ―芸術と社会との新しい出会いの場―

東京藝術大学

藝大アートプラザは、平成17年11月に、大学と社会、芸術と社会との新しい出会いの場として設立されたギャラリー・ショップです。教員、学生の作品はもちろん、東京藝術大学の企画開発・監修による高精細複製画「悲母観音」「序の舞」、カレンダー、Tシャツ、創立120周年記念グッズをはじめ、藝大出版会刊行書籍、奏楽堂演奏会チケット、芸術専門図書、CD並びにDVDを展示販売しています。また、全学生を対象とした学内アートコンペ「藝大アートプラザ大賞」を毎年開催し、学生の制作活動の一端を学外に発信しています。



鯨ギャラリー

東京海洋大学

鯨ギャラリーは平成18年4月、かねてからの骨格標本展示室を、骨格標本の保全・科学的見地からの改修とあわせ、展示室内に入って観覧できるよう改装、開館したものです。ギャラリー内にはセミクジラの骨格標本のほか、骨格標本と同じ個体から採取されたクジラの髭（ひげ）が展示されています。本骨格は体長17.1m、体重67.2トンに及び、完全な骨格標本としては世界最大級です。



筑波大学ギャラリー

筑波大学

筑波大学ギャラリーは、本学の歴史的資料等を常設展示し、広く社会に向けた情報発信と、皆様との交流の場とするため整備された展示施設です。

本ギャラリーには、朝永振一郎博士、白川英樹博士及び江崎玲於奈博士の本学関係ノーベル賞受賞者記念の展示、オリンピックで活躍した選手をはじめとする体育・スポーツの展示、歴史と伝統のある附属学校の展示、図書館流通センター会長石井昭氏から寄贈された美術品を展示しています。



環境健康オフィス「柏の葉鍼灸院」・クライミングウォール

千葉大学

環境健康フィールド科学センターでは、柏の葉キャンパス近くの商業施設と一体になって、新しいビジョンの街づくりを進めています。

環境健康オフィス「柏の葉鍼灸院」では、鍼灸治療のほか、空き時間を活用して、東洋医学相談や教師塾などを行っています。

また、本学教員が考案した高さ12mのフリークライミング・ウォールでは、ボランティアが育ち、交流の場として機能し始め、アドベンチャー教育によるコミュニティづくりが進んでいます。

その他、屋外緑化の分野でも技術協力しており、環境への意識啓発にも貢献しています。



LAWSON、NIIGATA UNIVERSITY 広報コーナー

新潟大学



福利厚生施設LAWSON、NIIGATA UNIVERSITYの外観と広報コーナー

新潟大学五十嵐キャンパスに平成19年に学生・教職員の福利厚生施設としてオープンした「LAWSON, NIIGATA UNIVERSITY」

には、通常のコンビニエンスストアの機能に加えて、交流スペースとしてコミュニティーホール、学生ラウンジ、イートインスペース、カフェテラスのほか大学広報コーナーが設置されています。広報コーナーには本学・学部案内や各種催し物等の大学を紹介するパンフレットなどを置き、その場で閲覧したり、自由に持ち帰ったりできるようにしています。

NUTテクノミュージアムへようこそ —そこに私たちの未来がある—

長岡技術科学大学

長岡技術科学大学はVOS（Vitality＝活力、Originality＝独創力、Services＝世のための奉仕）をモットーに、産業界のリーダーとなる人材育成と世の中に役立つ技術開発を行ってきました。平成19年6月に私たちの研究活動を紹介する場として、平易で親しみやすく、触って楽しめる展示に心がけたNUTテクノミュージアムを開設しました。より多くの方に工学を身近に感じてもらい、その面白さを味わって頂きたいと願っています。



上越教育大学大宮サテライト

上越教育大学

平成19年10月9日に埼玉県さいたま市JR大宮駅東口から徒歩3分松屋ビル6階に大宮サテライト（広さ約109㎡）を開設しました。当サテライトは各種講座、研修、セミナーの開設、入試情報の提供及び教育研究活動の情報発信等の場として活用します。25名程度が収容できる演習室や広報・資料コーナーを設け、本学教職員や卒業生等の方々だけでなく、多くの方に気軽に利用していただけるよう努めています。

ご利用申し込みは、上越教育大学研究連携室（電話 025-521-3621）まで



水晶展示室

山梨大学

山梨県では古くから水晶が採掘され、富士山・ワインと並んで県のシンボルとなっています。

本展示室では、単結晶としては東洋一と言われている高さ1メートルを超える大水晶や細工の美しい明治6年製の花瓶、ハート型の日本式双晶、

草入り水晶など、山梨県産を中心とした国産水晶並びに水晶加工品を中心に200点近くを展示しています。

百瀬康吉氏及び石川文一氏から寄贈を受けた貴重な水晶に関するお問い合わせは下記までお願いします。見学は無料ですが、事前にお申込みください。

山梨大学総務部総務・広報課総務グループ
tel 055-220-8004



水晶展示室



ハート型の日本式双晶

パネル展 at 京大サロン

京都大学

京都大学百周年時計台記念館内の1Fには、市民を初め、教職員、学生、名誉教授等が自由に交流する場として「京大サロン」があります。

京大サロンでは、本学における最新研究の一端を紹介するパネル展を年数回開催しています。

これまで、霊長類研究所創立40周年記念行事写真展「原野でサルと共に歩んだ40年」、写真展「虫が視る花の色と姿?!」、湯川秀樹・朝永振一郎生誕百年企画展「二人を取り巻く人々」等々を企画展示、今回は、京都議定書発効の地から「地球温暖化」に対する情報発信の一つとして「びっくり! エコスポ! 2007 at 京大サロン」を展示しました。



美術工芸資料館

京都工芸繊維大学

当館は、大学の前身のひとつである京都高等工芸学校の教授であった浅井忠や武田五一らが教材として収集したヨーロッパのポスターを始め、美術品や工芸品4,600件、約36,000点を収蔵し、

現在も収集活動を展開しています。

収蔵品には、浅井忠晩年の大作「武士山狩図下絵」、19世

紀末から20世紀前半にかけてのポスターなど、特に注目されている資料が数多く含まれています。

これらの収蔵品は、教育研究資料としての活用、常設展示及び企画展示の他、学外の展覧会等にも貸し出しを行い、研究学習と社会文化の向上に生かされています。



「貞奴主演」
ミュッラー 1900年



「歓楽の女王」
ロートレック 1892年



「武士山狩図下絵」浅井 忠 1905年

奈良教育大学教育資料館

奈良教育大学

教育資料館は、明治41年に陸軍第38連隊の糧秣庫として建築された施設を教育関係資料の収集及び展示並びに広く教育研究に資することを目的として平成4年に開館しました。館内には本学教育の歴史的な変遷を、教育資料、写真、年表によって解説、展示しています。また、我が国の学制発足以降における奈良県下で使用された教科書及び初等中等教育に関する教育関係資料と往時の教材・教具・備品等を常設しています。

開館時間

平日の13時00分から17時00分まで

入場無料

電話 0742-27-9297



奈良女子大学記念館

奈良女子大学

本学記念館（旧奈良女子高等師範学校本館）が、平成6年に守衛室、正門とともに国の重要文化財に指定されたことを受け、平成9年春から、重要文化財に対する理解と認識を得るとともに、開かれた大学として地域との連携を深め、さらに、本学所蔵の資料等を展示・公開することにより地域文化の発展・向上に寄与することを目的に、毎年春と秋の2回、一般公開（入館無料）を行っています。



紀南サテライト及び岸和田サテライト 和歌山大学

和歌山大学では紀南地域（紀伊半島）の高等教育機関不在を解消するため、従来の都市型サテライトとは違った田舎型サテライトを田辺市の県交流センター Big・U に設置しました。また平成18年には大阪府南部の岸和田市と交流協定を締結し、岸和田市立波切ホールに拠点を設けました。両サテライトでは大学院の講義や様々な地域向けの事業を行う外、大学の情報発信（広報施設）及び地域との交流の場として地域の皆様に活用されています。



県交流センター Big・U

広島大学宇宙科学センター 附属東広島天文台

広島大学

1.5m反射望遠鏡を国立天文台から譲り受け、平成18年5月末に完成した広島大学の新しい教育研究施設です。望遠鏡は駆動・制御系を一新し安全で機動的な「かなた望遠鏡」として生まれ代わり、両目で見ることの出来る眼視装置を新たに取り付けました。惑星観望等でとても美しく見えると評判です。また国立天文台が開発した4次元デジタル宇宙シアターも取り入れ天文・宇宙教育に活用しています。完成から1年余りで約5千名の学外見学者が星の観望又は宇宙デジタルシアター観賞に訪れ、口コミ評判で団体見学問い合わせが絶えません。（宇宙科学センターホームページ）<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hasc/>



かなた望遠鏡で観望中の子供達と保護者達



「うお！すごいぞ！」「僕にも早く見せてよ！」

交流の場、ガレリア新蔵

徳島大学

ガレリア新蔵は、徳島大学の教育、研究及び社会貢献の進展に資するとともに、広く社会における学術文化の向上や地域連携に寄与することを目的として、徳島大学地域・国際交流プラザ（日亜会館）の1階に設置された施設です。



ガレリア新蔵は、ギャラリー・フロアと展示室とかなっています。ギャラリー・フロアは本学主催の行事等に活用されるほか、一般への利用貸出も行われます。

展示室では、徳島大学の沿革が紹介されているほか、徳島大学が所蔵する貴重な資料などを公開しています。



Big Orange (新キャンパス情報発信拠点)

九州大学

九州大学の情報発信拠点として、また、大学と社会のインターフェイスとしての役割を担う施設です。順次移転が行われている伊都キャンパスの計画・建設、研究教育や産学官連携のプロジェクト、九州大学学術研究都市構想、地域の情報をパネル、模型、映像などを用いて来学者に紹介しています。



公開貴重資料展示室

長崎大学

長崎大学では所蔵する貴重資料を一般に公開するために附属図書館に公開貴重資料展示室を設置しています。中央図書館では『幕末・明治期日本古写真コレクション』及び『グラバー図譜』(魚図)を、医学分館では日本最古の聴胸器、シーボルトの『日本植物誌』、ポンペの講義録などの近代医学史料を、経済学部分館では対外交渉史や長崎関係の稀覯書を多く含む『武藤文庫』を展示しています。見学時間は平日の9時から17時30分までです。



旧制第五高等学校の資料を展示する五高記念館

熊本大学

旧制第五高等学校の本館は化学実験場、赤門と共に国の重要文化財に指定されており、平成5年から旧制第五高等学校の資料を展示する五高記念館として公開しています。旧制高等学校の煉瓦造建築物で現存しているものは数少なく、唯一本学だけが、大学所有となっています。また、所蔵している史・資料の数も多く、



戦前の高等教育の研究に大いに貢献できるものであり、注目を集めています。常設展示の他に、当地で明治3年より営業を続ける「富重写真所」の所蔵写真展などユニークな企画展を開催しています。

インフォメーションセンター

鹿児島大学

インフォメーションセンターは、大学からの情報発信と一般市民、受験生や企業の方々との交流を図る場として平成19年4月に正門に付設されました。スタッフ1名が常駐して館内の案内や大学来訪者のお問い合わせに対応します。大学・学部案内、大学・学部と大学病院等附属施設の広報誌等の配布、入試問題・技術シーズ集などの閲覧、学内イベントの案内、研究成果物の展示を行っています。大学オリジナルグッズや鹿大関連商品、農学部附属農場生産物の販売を行うほか、大学紹介DVD等の視聴が可能です。



NIFSスポーツクラブ

鹿屋体育大学

平成18年度2月設立した総合型地域スポーツクラブです。

本学の教員のスポーツに関する専門知識・技術と、各種の体育施設など知的・物的資源を有

効活用することにより、

活力ある地域社会づくりに貢献する事を目的としています。

現在は、体操サークル

（7コース）及びサッカー（3コース）等のサークルで約300名の会員が楽しく活動しています。



第三章

大学のブランド商品

食 品 類	68
-------	----

菓 子 類	68
-------	----

酒 類	69
-----	----

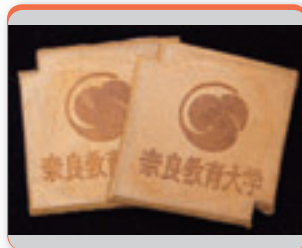
小 物 類	69
-------	----

第一章に掲げた商品以外にも各大学のブランド商品が多数あります。これらの一部を紹介します。

食 品 類



菓 子 類



酒 類



小 物 類



大学名	窓口・連絡先	電話番号	e-mailアドレス
北海道大学	総務部広報課	011-706-2610	kouhou@jimu.hokudai.ac.jp
北海道教育大学	総務部総務課総務・広報グループ	011-778-0210	Koho1@sap.hokkyodai.ac.jp
室蘭工業大学	総務課広報係	0143-46-5024	koho@mmm.muroran-it.ac.jp
小樽商科大学	総務課総務係	0134-27-5206	kouhou@office.otaru-uc.ac.jp
帯広畜産大学	企画総務部総務課	0155-49-5214	kouhou@obihiro.ac.jp
旭川医科大学	総務部総務課広報調査係	0166-68-2139	somu-koho@jimu.asahikawa-med.ac.jp
北見工業大学	企画広報課広報係	0157-26-9116	soumu05@desk.kitami-it.ac.jp
弘前大学	総務部総務課広報・支援グループ	0172-39-3012	jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp
岩手大学	総務企画部総務広報課	019-621-6015	kkoho@iwate-u.ac.jp
東北大学	広報部広報課	022-217-4816	koho@bureau.tohoku.ac.jp
宮城教育大学	総務室広報・危機管理担当	022-214-3453	koho@adm.miyakyo-u.ac.jp
秋田大学	総務部広報課	018-889-3019	kouhou@jimu.akita-u.ac.jp
山形大学	総務部広報ユニット	023-628-4008	sombun@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
福島大学	企画部門企画総括グループ	024-548-5190	kouhou@as1.adb.fukushima-u.ac.jp
東京大学	広報グループ	03-3811-3393	kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp
東京医科歯科大学	総務部総務課文書広報掛	03-5803-5011	Kouhou.adm@tmd.ac.jp
東京外国語大学	企画広報課広報係	042-330-5150	Kikaku-koho@tufs.ac.jp
東京学芸大学	総務部企画課広報室	042-329-7116	kouhouty@u-gakugei.ac.jp
東京農工大学	広報・社会貢献チーム広報係	042-367-5898	koho2@cc.tuat.ac.jp
東京藝術大学	総務課参事役付企画評価・広報室広報係	050-5525-2026	joho@ml.geidai.ac.jp
東京工業大学	総務部評価・広報課広報・社会連携係	03-5734-2975	kouhou@jim.titech.ac.jp
東京海洋大学	総務部総務課広報係	03-5463-1609	so-koho@kaiyodai.ac.jp
お茶の水女子大学	産学連携チーム	03-5978-5162	s-kenkyo@cc.ocha.ac.jp
電気通信大学	入試・広報課	042-443-5019	kouhou-k@office.uec.ac.jp
一橋大学	学長室	042-580-8032	gakuchositu3@ad.hit-u.ac.jp
茨城大学	総務部総務課広報係	029-228-8008	soumu-pr@mx.ibaraki.ac.jp
筑波大学	総務・企画部広報課	029-853-2063	sk.kohoka@sec.tsukuba.ac.jp
筑波技術大学	総務課広報・公聴担当	029-858-9424	kouhou@ad.tsukuba-tech.ac.jp
宇都宮大学	総務部総務課企画広報係	028-649-8649	plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
群馬大学	総務部総務課広報調査係	027-220-7010	s-public@jimu.gunma-u.ac.jp
埼玉大学	総務部総務課広報係	048-858-3932	koho@gr.saitama-u.ac.jp
千葉大学	企画総務部総務課広報グループ	043-290-2018	bag2018@office.chiba-u.jp
横浜国立大学	総務部広報・渉外室	045-339-3016	koho@nuc.ynu.ac.jp
新潟大学	総務部総務課広報係	025-262-7000	info-nu@adm.niigata-u.ac.jp
長岡技術科学大学	総務部総務課広報係	0258-47-9209	skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp
上越教育大学	広報室	025-521-3626	kouhou@juen.ac.jp
山梨大学	総務部総務・広報課広報グループ	055-220-8006	koho@yamanashi.ac.jp
信州大学	広報・情報室	0263-37-3056	kouhou@shinshu-u.ac.jp
富山大学	総務部総務課広報室	076-445-6027	kouhou@u-toyama.ac.jp
金沢大学	総務部総務課広報企画係	076-264-5024	koho@ad.kanazawa-u.ac.jp
岐阜大学	総務部総務課広報室	058-293-2009	kohositu@gifu-u.ac.jp
静岡大学	総務部総務・企画チーム	054-238-5179	koho@adb.shizuoka.ac.jp

大学名	窓口・連絡先	電話番号	e-mailアドレス
浜松医科大学	総務部総務課文書法規係	053-435-2114	ssb@hama-med.ac.jp
名古屋大学	広報室	052-789-2016	kouho@post.jimu.nagoya-u.ac.jp
愛知教育大学	総務部総務課	0566-26-2196	syomu@aecc.aichi-edu.ac.jp
名古屋工業大学	総務部企画課	052-735-5003	kouhou@ml.nitech.ac.jp
豊橋技術科学大学	総務部企画課企画広報係	0532-44-6506	kouho@office.tut.ac.jp
三重大学	総務部広報チーム	059-231-9789	koho@ab.mie-u.ac.jp
北陸先端科学技術大学院大学	広報室	0761-51-1031	kouhou@jaist.ac.jp
滋賀大学	総務課広報室	0749-27-7524	koho@biwako.shiga-u.ac.jp
滋賀医科大学	企画調整室	077-548-2012	hqsuisin@belle.shiga-med.ac.jp
京都大学	広報センター広報グループ	075-753-2070	Kohho52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
京都教育大学	企画広報課広報・情報グループ	075-644-8125	koho@kyokyo-u.ac.jp
京都工芸繊維大学	企画広報課	075-724-7017	ab7023a@jim.kit.ac.jp
大阪大学	総務部評価・広報課広報係	06-6879-7017	souhyokoukouhou@ns.jim.osaka-u.ac.jp
大阪教育大学	企画課企画係	072-978-3344	kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
兵庫教育大学	総務部企画課	0795-44-2334	office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp
神戸大学	企画部社会連携課広報係	078-803-5022	plan-kouhou@office.kobe-u.ac.jp
奈良教育大学	総務課総務・広報担当	0742-27-9104	kouhou@nara-edu.ac.jp
奈良女子大学	総務・企画課企画広報係	0742-20-3220	somu02@jimu.nara-wu.ac.jp
和歌山大学	企画総務課広報係	073-457-7010	koho@center.wakayama-u.ac.jp
奈良先端科学技術大学院大学	教育研究支援部企画総務課広報渉外係	0743-72-5026	s-kikaku@ad.naist.jp
鳥取大学	総務部総務課広報企画室	0857-31-5006	toridai-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp
島根大学	総務部総務課企画・法規・広報グループ	0852-32-6603	jsy-bunsyo@jn.shimane-u.ac.jp
岡山大学	総務・企画部総務課広報係	086-251-7292	aag7017@adm.okayama-u.ac.jp
広島大学	学長室広報グループ	082-424-6017	koho@office.hiroshima-u.ac.jp
山口大学	総務部総務課秘書室	083-933-5014	sh017@yamaguchi-u.ac.jp
徳島大学	総務部秘書課	088-656-7006	hisyohosa@jim.tokushima-u.ac.jp
鳴門教育大学	総務部総務課総務・広報チーム	088-687-6029	ss.bunsyo@jim.naruto-u.ac.jp
香川大学	広報センター	087-832-1027	soumkot@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
愛媛大学	広報室	089-927-9022	koho@stu.ehime-u.ac.jp
高知大学	広報室	088-844-8643	kh13@kochi-u.ac.jp
福岡教育大学	総務課広報係	0940-35-1205	kohocho@fukuoka-edu.ac.jp
九州大学	広報室	092-642-2106	koho@jimu.kyushu-u.ac.jp
九州工業大学	総務課広報企画係	093-884-3007	sou-kouhou@jimu.kyutech.ac.jp
佐賀大学	広報室	0952-28-8153	sagakoho@mail.admin.saga-u.ac.jp
長崎大学	総務部総務課広報・法規班	095-819-2014	kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp
熊本大学	企画部企画課広報室	096-342-3119	sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp
大分大学	研究・社会連携部研究・社会連携課社会連携グループ	097-554-7376	koho@ad.oita-u.ac.jp
宮崎大学	企画総務部企画課情報広報係	0985-58-7106	kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp
鹿児島大学	総務部総務課広報室広報・情報公開係	099-285-7035	sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp
鹿屋体育大学	総務課広報サービス係	0994-46-4819	kouhou@nifs-k.ac.jp
琉球大学	総務部総務課広報・情報室企画広報係	098-895-8175	kohokoho@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

国立大学発 特色ある取組紹介

2008年2月発行

編集発行 社団法人国立大学協会

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

電話 03-4212-3505

FAX 03-4212-3509

制作・印刷 **ぎょうせい**

